

平成 23 年 12 月 1 日
【照会先】
大臣官房統計情報部人口動態・保健統計課
課長 小野 暁史
課長補佐 小笹 眞憲
死亡・死産担当係 : 年報第一係 (内線 7490)
出生・婚姻・離婚担当係 : 年報第二係 (内線 7491)
(電話) 03-5253-1111 (代 表)
03-3595-2812 (ダイヤルイン)

平成 22 年 (2010) 人口動態統計 (確定数) の概況

目 次

調 査 の 概 要	1
結 果 の 概 要	2
(統 計 表)	
第 1 表 人口動態総覧	3
第 2 表-1 人口動態総覧の年次推移	4
第 2 表-2 人口動態総覧 (率) の年次推移	6
第 3 表-1 人口動態総覧, 都道府県 (20 大都市再掲) 別	8
第 3 表-2 人口動態総覧 (率), 都道府県 (20 大都市再掲) 別	10
第 4 表 母の年齢 (5 歳階級) ・ 出生順位別にみた出生数	12
第 5 表 母の年齢 (5 歳階級) ・ 出生順位別にみた合計特殊出生率	13
第 6 表 性別にみた死因順位 (第 10 位まで) 別 死亡数・死亡率 (人口 10 万対) ・ 構成割合	14
第 7 表 死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率 (人口 10 万対)	15
(別 表) 日本における外国人の人口動態・外国における日本人の人口動態	18
付 表 諸率の算出に用いた人口	19
参 考 合計特殊出生率について	20
厚生労働省ホームページ掲載表一覧	24

本資料を含む主要統計表 (24 ページ参照) は厚生労働省ホームページに掲載しています。

掲載場所: 「統計情報・白書」→「各種統計調査結果」→「最近公表の統計資料」

→「平成 22 年人口動態統計 (確定数) の概況」

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei10/index.html>

調 査 の 概 要

- 1 調査の目的 我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
- 2 調査の対象及び客体 「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況は、平成22年に日本において発生した日本人の事象を客体としている。
- 3 調査の期間 平成22年1月1日～平成22年12月31日
- 4 調査の方法 市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。
- 5 報告の系統 市区町村 —— 保健所 —— 都道府県 —— 厚生労働省

保健所を
設置する市・特別区
- 6 結果の集計 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

《利用上の注意》

- 1 印刷公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

人口動態統計速報	人口動態統計月報	人口動態統計年報
数値：調査票を作成した数 集計客体：日本における日本人及び外国人、並びに外国における日本人 いずれも前年以前発生のもを含む 公表：毎月 (調査月の約2か月後)	数値：概数 集計客体：日本における日本人 (前年以前発生ものを除く) 公表：毎月 (調査月の約5か月後) : 毎年(年間合計) (調査年の翌年6月)	数値：確定数 (概数に修正を加えたもの) 集計客体：日本における日本人 (日本における外国人、外国における日本人及び前年以前発生ものは別掲) 公表：毎年(調査年の翌年9月ごろ) 国勢調査年(年齢別人口確定後) ※ただし実数のみ調査年の翌年9月ごろ

※本概況は太枠の部分である。

報告書(刊行は平成24年2～3月ごろ)

- 上巻(人口動態調査の概要及び結果の解析を収録)
- 中巻(出生・死亡・死産・婚姻及び離婚に関する統計表を収録)
- 下巻(死因に関する統計表を収録)

- 2 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のありえない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…
比率が微小(0.05未満)の場合	0.0
減少数(率)の場合	△

なお、掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

- 3 用語の解説

- 自然増減：出生数から死亡数を減じたもの
- 乳児死亡：生後1年未満の死亡
- 新生児死亡：生後4週未満の死亡
- 早期新生児死亡：生後1週未満の死亡
- 死産：妊娠満12週以後の死児の出産
- 周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの
- 合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。
- 年齢調整死亡率：人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別(人口千対)死亡率を一定の基準人口(昭和60年モデル人口、19ページ)にあてはめて算出した指標である。

結 果 の 概 要

1 出生数は増加

出生数は107万1304人で、前年の107万35人より1269人増加し、出生率（人口千対）は8.5で前年と同率となった。合計特殊出生率は1.39で前年の1.37を上回った。（第1表）

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、34歳以下の各階級及び50歳以上では前年より減少したが、35～49歳の各階級では前年に引き続き増加した。

合計特殊出生率の内訳を母の年齢（5歳階級）別にみると、15～19歳の階級では低下したが、20～49歳の各階級では上昇した。なお、30～34歳の階級が最も高くなっている。

出生順位別にみると出生数は第1子は前年に引き続き減少したが、第2子、第3子以上は増加した。合計特殊出生率の内訳ではいずれの順位についても前年を上回った。

母の年齢（5歳階級）別と出生順位別を併せてみると、出生数・合計特殊出生率の内訳ともに35～44歳の各階級ではいずれの出生順位についても前年を上回った。（第4表、第5表）

2 死亡数は増加

死亡数は119万7012人で、前年の114万1865人より5万5147人増加し、死亡率（人口千対）は9.5で前年の9.1を上回った（第1表）。

悪性新生物の死亡数は35万3499人で、死亡率（人口10万対）は279.7であり、死亡総数の29.5%を占めて死因順位の第1位となっている。第2位は心疾患、第3位は脳血管疾患である。（第6表）

年齢調整死亡率（人口千対）は男5.4、女2.7で前年と同率となった（第1表）。

3 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△12万5708人で、前年の△7万1830人より5万3878人減少し、自然増減率（人口千対）は△1.0で前年の△0.6を下回り、数・率ともに4年連続でマイナスとなった（第1表、第2表－1、第2表－2）。

4 死産数は減少

死産数は2万6560胎で、前年の2万7005胎より445胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は24.2で、前年の24.6を下回った（第1表）。

5 婚姻件数は減少

婚姻件数は70万214組で、前年の70万7734組より7520組減少し、婚姻率（人口千対）は5.5で前年の5.6を下回った（第1表）。

6 離婚件数は減少

離婚件数は25万1378組で、7年ぶりに増加した前年の25万3353組より1975組減少した（第1表、第2表－1）。

離婚率（人口千対）は1.99で前年の2.01を下回った（第1表）。

(統計表)
第1表 人口動態総覧

	実数			率 ¹⁾		平均発生間隔	
	平成22年	平成21年	対前年増減	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年
出生	1 071 304	1 070 035	1 269	8.5	8.5	分 秒 29"	分 秒 29"
男	550 742	548 993	1 749	8.9	9.0	57"	57"
女	520 562	521 042	△ 480	8.0	8.1	1' 1"	1' 1"
死亡	1 197 012	1 141 865	55 147	9.5	9.1	26"	28"
男	633 700	609 042	24 658	10.3	9.9	50"	52"
女	563 312	532 823	30 489	8.7	8.3	56"	59"
(再掲)							
乳児死亡	2 450	2 556	△ 106	2.3	2.4	214' 32"	205' 38"
新生児死亡	1 167	1 254	△ 87	1.1	1.2	450' 23"	419' 8"
自然増減	△ 125 708	△ 71 830	△53 878	△ 1.0	△ 0.6	…	…
死産	26 560	27 005	△ 445	24.2	24.6	19' 47"	19' 28"
自然死産	12 245	12 214	31	11.2	11.1	42' 55"	43' 2"
人工死産	14 315	14 791	△ 476	13.0	13.5	36' 43"	35' 32"
周産期死亡	4 515	4 519	△ 4	4.2	4.2	116' 25"	116' 19"
妊娠満22週以後の死産	3 637	3 645	△ 8	3.4	3.4	144' 31"	144' 12"
早期新生児死亡	878	874	4	0.8	0.8	598' 38"	601' 22"
婚姻	700 214	707 734	△ 7 520	5.5	5.6	45"	45"
離婚	251 378	253 353	△ 1 975	1.99	2.01	2' 5"	2' 4"

	平成22年	平成21年
合計特殊出生率	1.39	1.37
年齢調整死亡率 男	5.4	5.4
女	2.7	2.7

注：1) 出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡率・妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。

第2表-1 人口動態総覧の年次推移

年次 ¹⁾	出生数	死亡数	(再掲)		自然増減数	
			乳児死亡数	新生児死亡数		
1947	昭和22年	2 678 792	1 138 238	205 360	84 204	1 540 554
48	23	2 681 624	950 610	165 406	73 855	1 731 014
49	24	2 696 638	945 444	168 467	72 432	1 751 194
1950	25	2 337 507	904 876	140 515	64 142	1 432 631
51	26	2 137 689	838 998	122 869	58 686	1 298 691
52	27	2 005 162	765 068	99 114	51 015	1 240 094
53	28	1 868 040	772 547	91 424	47 580	1 095 493
54	29	1 769 580	721 491	78 944	42 726	1 048 089
55	30	1 730 692	693 523	68 801	38 646	1 037 169
56	31	1 665 278	724 460	67 691	38 232	940 818
57	32	1 566 713	752 445	62 678	33 847	814 268
58	33	1 653 469	684 189	57 052	32 237	969 280
59	34	1 626 088	689 959	54 768	30 235	936 129
1960	35	1 606 041	706 599	49 293	27 362	899 442
61	36	1 589 372	695 644	45 465	26 255	893 728
62	37	1 618 616	710 265	42 797	24 777	908 351
63	38	1 659 521	670 770	38 442	22 965	988 751
64	39	1 716 761	673 067	34 967	21 344	1 043 694
65	40	1 823 697	700 438	33 742	21 260	1 123 259
66	41	1 360 974	670 342	26 217	16 296	690 632
67	42	1 935 647	675 006	28 928	19 248	1 260 641
68	43	1 871 839	686 555	28 600	18 326	1 185 284
69	44	1 889 815	693 787	26 874	17 116	1 196 028
1970	45	1 934 239	712 962	25 412	16 742	1 221 277
71	46	2 000 973	684 521	24 805	16 450	1 316 452
72	47	2 038 682	683 751	23 773	15 817	1 354 931
73	48	2 091 983	709 416	23 683	15 473	1 382 567
74	49	2 029 989	710 510	21 888	14 472	1 319 479
75	50	1 901 440	702 275	19 103	12 912	1 199 165
76	51	1 832 617	703 270	17 105	11 638	1 129 347
77	52	1 755 100	690 074	15 666	10 773	1 065 026
78	53	1 708 643	695 821	14 327	9 628	1 012 822
79	54	1 642 580	689 664	12 923	8 590	952 916
1980	55	1 576 889	722 801	11 841	7 796	854 088
81	56	1 529 455	720 262	10 891	7 188	809 193
82	57	1 515 392	711 883	9 969	6 425	803 509
83	58	1 508 687	740 038	9 406	5 894	768 649
84	59	1 489 780	740 247	8 920	5 527	749 533
85	60	1 431 577	752 283	7 899	4 910	679 294
86	61	1 382 946	750 620	7 251	4 296	632 326
87	62	1 346 658	751 172	6 711	3 933	595 486
88	63	1 314 006	793 014	6 265	3 592	520 992
89	平成元年	1 246 802	788 594	5 724	3 214	458 208
1990	2	1 221 585	820 305	5 616	3 179	401 280
91	3	1 223 245	829 797	5 418	2 978	393 448
92	4	1 208 989	856 643	5 477	2 905	352 346
93	5	1 188 282	878 532	5 169	2 765	309 750
94	6	1 238 328	875 933	5 261	2 889	362 395
95	7	1 187 064	922 139	5 054	2 615	264 925
96	8	1 206 555	896 211	4 546	2 438	310 344
97	9	1 191 665	913 402	4 403	2 307	278 263
98	10	1 203 147	936 484	4 380	2 353	266 663
99	11	1 177 669	982 031	4 010	2 137	195 638
2000	12	1 190 547	961 653	3 830	2 106	228 894
01	13	1 170 662	970 331	3 599	1 909	200 331
02	14	1 153 855	982 379	3 497	1 937	171 476
03	15	1 123 610	1 014 951	3 364	1 879	108 659
04	16	1 110 721	1 028 602	3 122	1 622	82 119
05	17	1 062 530	1 083 796	2 958	1 510	△ 21 266
06	18	1 092 674	1 084 450	2 864	1 444	8 224
07	19	1 089 818	1 108 334	2 828	1 434	△ 18 516
08	20	1 091 156	1 142 407	2 798	1 331	△ 51 251
09	21	1 070 035	1 141 865	2 556	1 254	△ 71 830
2010	22	1 071 304	1 197 012	2 450	1 167	△ 125 708

注：1) 昭和47年以前は沖縄県を含まない。
 2) 周産期死亡数は妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。
 3) (参考)の周産期死亡数は妊娠満28週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。
 平成7年から、周産期死亡のうち死産については妊娠満28週以後から妊娠満22週以後に変更されたが、
 継続観察のため本数値を参考として掲載している。
 4) 死産数の昭和23年、24年には自然死産・人工死産の不詳を含む。なお、*印は概数である。

(参考)

死産数			周産期 死亡数 ²⁾	婚姻件数	離婚件数	周産期 死亡数 ³⁾	年次 ¹⁾	
総数	自然死産	人工死産					周産期 死亡数 ³⁾	年次 ¹⁾
123 837	934 170	79 551	...	昭和22年	1947
⁴⁾ 143 963	*104 325	*31 055	...	953 999	79 032	...	23	48
⁴⁾ 192 677	*114 161	*75 585	...	842 170	82 575	...	24	49
216 974	106 594	110 380	...	715 081	83 689	108 843	25	1950
217 231	101 237	115 994	...	671 905	82 331	99 865	26	51
203 824	94 508	109 316	...	676 995	79 021	91 527	27	52
193 274	89 751	103 523	...	682 077	75 255	85 932	28	53
187 119	87 201	99 918	...	697 809	76 759	79 776	29	54
183 265	85 159	98 106	...	714 861	75 267	75 918	30	55
179 007	86 558	92 449	...	715 934	72 040	75 706	31	56
176 353	86 895	89 458	...	773 362	71 651	70 502	32	57
185 148	92 282	92 866	...	826 902	74 004	72 625	33	58
181 893	92 688	89 205	...	847 135	72 455	69 912	34	59
179 281	93 424	85 857	...	866 115	69 410	66 552	35	1960
179 895	96 032	83 863	...	890 158	69 323	65 063	36	61
177 363	97 256	80 107	...	928 341	71 394	62 650	37	62
175 424	97 711	77 713	...	937 516	69 996	60 049	38	63
168 046	97 357	70 689	...	963 130	72 306	56 827	39	64
161 617	94 476	67 141	...	954 852	77 195	54 904	40	65
148 248	83 253	64 995	...	940 120	79 432	42 583	41	66
149 389	90 938	58 451	...	953 096	83 478	50 846	42	67
143 259	87 381	55 878	...	956 312	87 327	45 921	43	68
139 211	85 788	53 423	...	984 142	91 280	43 419	44	69
135 095	84 073	51 022	...	1 029 405	95 937	41 917	45	1970
130 920	83 827	47 093	...	1 091 229	103 595	40 900	46	71
125 154	81 741	43 413	...	1 099 984	108 382	38 754	47	72
116 171	78 613	37 558	...	1 071 923	111 877	37 598	48	73
109 738	74 618	35 120	...	1 000 455	113 622	34 383	49	74
101 862	67 643	34 219	...	941 628	119 135	30 513	50	75
101 930	64 046	37 884	...	871 543	124 512	27 133	51	76
95 247	60 330	34 917	...	821 029	129 485	24 708	52	77
87 463	55 818	31 645	...	793 257	132 146	22 217	53	78
82 311	51 083	31 228	36 190	788 505	135 250	20 481	54	79
77 446	47 651	29 795	32 422	774 702	141 689	18 385	55	1980
79 222	46 296	32 926	30 274	776 531	154 221	16 531	56	81
78 107	44 135	33 972	28 204	781 252	163 980	15 303	57	82
71 941	40 108	31 833	25 925	762 552	179 150	14 035	58	83
72 361	37 976	34 385	25 149	739 991	178 746	12 998	59	84
69 009	33 114	35 895	22 379	735 850	166 640	11 470	60	85
65 678	31 050	34 628	20 389	710 962	166 054	10 148	61	86
63 834	29 956	33 878	18 699	696 173	158 227	9 317	62	87
59 636	26 804	32 832	16 839	707 716	153 600	8 508	63	88
55 204	24 558	30 646	15 183	708 316	157 811	7 450	平成元年	89
53 892	23 383	30 509	13 704	722 138	157 608	7 001	2	1990
50 510	22 317	28 193	10 426	742 264	168 969	6 544	3	91
48 896	21 689	27 207	9 888	754 441	179 191	6 321	4	92
45 090	20 205	24 885	9 226	792 658	188 297	5 989	5	93
42 962	19 754	23 208	9 286	782 738	195 106	6 134	6	94
39 403	18 262	21 141	8 412	791 888	199 016	5 526	7	95
39 536	18 329	21 207	8 080	795 080	206 955	5 321	8	96
39 546	17 453	22 093	7 624	775 651	222 635	4 974	9	97
38 988	16 936	22 052	7 447	784 595	243 183	4 927	10	98
38 452	16 711	21 741	7 102	762 028	250 529	4 665	11	99
38 393	16 200	22 193	6 881	798 138	264 246	4 562	12	2000
37 467	15 704	21 763	6 476	799 999	285 911	4 238	13	01
36 978	15 161	21 817	6 333	757 331	289 836	4 224	14	02
35 330	14 644	20 686	5 929	740 191	283 854	3 995	15	03
34 365	14 288	20 077	5 541	720 417	270 804	3 671	16	04
31 818	13 502	18 316	5 149	714 265	261 917	3 492	17	05
30 911	13 424	17 487	5 100	730 971	257 475	3 420	18	06
29 313	13 107	16 206	4 906	719 822	254 832	3 306	19	07
28 177	12 625	15 552	4 720	726 106	251 136	3 178	20	08
27 005	12 214	14 791	4 519	707 734	253 353	3 096	21	09
26 560	12 245	14 315	4 515	700 214	251 378	3 065	22	2010

第2表-2 人口動態総覧（率）の年次推移

年次 ¹⁾		出生率 (人口千対)	死亡率 (人口千対)	乳児 死亡率 (出生千対)	新生児 死亡率	自然 増減率 (人口千対)	死産率 ²⁾ (出産千対)	自然 死産率	人工 死産率
1947	昭和22年	34.3	14.6	76.7	31.4	19.7	44.2	…	…
48	23	33.5	11.9	61.7	27.5	21.6	50.9	*36.9	*10.9
49	24	33.0	11.6	62.5	26.9	21.4	66.7	*39.1	*25.9
1950	25	28.1	10.9	60.1	27.4	17.2	84.9	41.7	43.2
51	26	25.3	9.9	57.5	27.5	15.4	92.2	43.0	49.3
52	27	23.4	8.9	49.4	25.4	14.4	92.3	42.8	49.5
53	28	21.5	8.9	48.9	25.5	12.6	93.8	43.5	50.2
54	29	20.0	8.2	44.6	24.1	11.9	95.6	44.6	51.1
55	30	19.4	7.8	39.8	22.3	11.6	95.8	44.5	51.3
56	31	18.4	8.0	40.6	23.0	10.4	97.1	46.9	50.1
57	32	17.2	8.3	40.0	21.6	8.9	101.2	49.9	51.3
58	33	18.0	7.4	34.5	19.5	10.5	100.7	50.2	50.5
59	34	17.5	7.4	33.7	18.6	10.1	100.6	51.3	49.3
1960	35	17.2	7.6	30.7	17.0	9.6	100.4	52.3	48.1
61	36	16.9	7.4	28.6	16.5	9.5	101.7	54.3	47.4
62	37	17.0	7.5	26.4	15.3	9.5	98.8	54.2	44.6
63	38	17.3	7.0	23.2	13.8	10.3	95.6	53.3	42.4
64	39	17.7	6.9	20.4	12.4	10.7	89.2	51.7	37.5
65	40	18.6	7.1	18.5	11.7	11.4	81.4	47.6	33.8
66	41	13.7	6.8	19.3	12.0	7.0	98.2	55.2	43.1
67	42	19.4	6.8	14.9	9.9	12.7	71.6	43.6	28.0
68	43	18.6	6.8	15.3	9.8	11.8	71.1	43.4	27.7
69	44	18.5	6.8	14.2	9.1	11.7	68.6	42.3	26.3
1970	45	18.8	6.9	13.1	8.7	11.8	65.3	40.6	24.7
71	46	19.2	6.6	12.4	8.2	12.6	61.4	39.3	22.1
72	47	19.3	6.5	11.7	7.8	12.8	57.8	37.8	20.1
73	48	19.4	6.6	11.3	7.4	12.8	52.6	35.6	17.0
74	49	18.6	6.5	10.8	7.1	12.1	51.3	34.9	16.4
75	50	17.1	6.3	10.0	6.8	10.8	50.8	33.8	17.1
76	51	16.3	6.3	9.3	6.4	10.0	52.7	33.1	19.6
77	52	15.5	6.1	8.9	6.1	9.4	51.5	32.6	18.9
78	53	14.9	6.1	8.4	5.6	8.8	48.7	31.1	17.6
79	54	14.2	6.0	7.9	5.2	8.3	47.7	29.6	18.1
1980	55	13.6	6.2	7.5	4.9	7.3	46.8	28.8	18.0
81	56	13.0	6.1	7.1	4.7	6.9	49.2	28.8	20.5
82	57	12.8	6.0	6.6	4.2	6.8	49.0	27.7	21.3
83	58	12.7	6.2	6.2	3.9	6.5	45.5	25.4	20.1
84	59	12.5	6.2	6.0	3.7	6.3	46.3	24.3	22.0
85	60	11.9	6.3	5.5	3.4	5.6	46.0	22.1	23.9
86	61	11.4	6.2	5.2	3.1	5.2	45.3	21.4	23.9
87	62	11.1	6.2	5.0	2.9	4.9	45.3	21.2	24.0
88	63	10.8	6.5	4.8	2.7	4.3	43.4	19.5	23.9
89	平成元年	10.2	6.4	4.6	2.6	3.7	42.4	18.9	23.5
1990	2	10.0	6.7	4.6	2.6	3.3	42.3	18.3	23.9
91	3	9.9	6.7	4.4	2.4	3.2	39.7	17.5	22.1
92	4	9.8	6.9	4.5	2.4	2.9	38.9	17.2	21.6
93	5	9.6	7.1	4.3	2.3	2.5	36.6	16.4	20.2
94	6	10.0	7.1	4.2	2.3	2.9	33.5	15.4	18.1
95	7	9.6	7.4	4.3	2.2	2.1	32.1	14.9	17.2
96	8	9.7	7.2	3.8	2.0	2.5	31.7	14.7	17.0
97	9	9.5	7.3	3.7	1.9	2.2	32.1	14.2	17.9
98	10	9.6	7.5	3.6	2.0	2.1	31.4	13.6	17.8
99	11	9.4	7.8	3.4	1.8	1.6	31.6	13.7	17.9
2000	12	9.5	7.7	3.2	1.8	1.8	31.2	13.2	18.1
01	13	9.3	7.7	3.1	1.6	1.6	31.0	13.0	18.0
02	14	9.2	7.8	3.0	1.7	1.4	31.1	12.7	18.3
03	15	8.9	8.0	3.0	1.7	0.9	30.5	12.6	17.8
04	16	8.8	8.2	2.8	1.5	0.7	30.0	12.5	17.5
05	17	8.4	8.6	2.8	1.4	△ 0.2	29.1	12.3	16.7
06	18	8.7	8.6	2.6	1.3	0.1	27.5	11.9	15.6
07	19	8.6	8.8	2.6	1.3	△ 0.1	26.2	11.7	14.5
08	20	8.7	9.1	2.6	1.2	△ 0.4	25.2	11.3	13.9
09	21	8.5	9.1	2.4	1.2	△ 0.6	24.6	11.1	13.5
2010	22	8.5	9.5	2.3	1.1	△ 1.0	24.2	11.2	13.0

注：1) 昭和47年以前は沖縄県を含まない。

2) 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。なお、*印は概数による率である。

3) 周産期死亡率は周産期死亡数を出産数（妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの）で除している。

周産期 死亡率 ³⁾ (出生千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)	合計特殊 出生率	年齢調整死亡率 (人口千対)		周産期 死亡率 ⁴⁾ (出生千対)	年次 ¹⁾	
				男	女		昭和22年	1947
...	12.0	1.02	4.54	23.6	18.3	...	昭和22年	1947
...	11.9	0.99	4.40	19.3	15.4	...	23	48
...	10.3	1.01	4.32	18.9	15.0	...	24	49
...	8.6	1.01	3.65	18.6	14.6	46.6	25	1950
...	7.9	0.97	3.26	16.9	13.4	46.7	26	51
...	7.9	0.92	2.98	15.7	12.4	45.6	27	52
...	7.8	0.86	2.69	16.4	12.6	46.0	28	53
...	7.9	0.87	2.48	15.2	11.3	45.1	29	54
...	8.0	0.84	2.37	14.8	11.0	43.9	30	55
...	7.9	0.80	2.22	15.6	11.5	45.5	31	56
...	8.5	0.79	2.04	16.3	11.8	45.0	32	57
...	9.0	0.80	2.11	14.4	10.4	43.9	33	58
...	9.1	0.78	2.04	14.4	10.2	43.0	34	59
...	9.3	0.74	2.00	14.8	10.4	41.4	35	1960
...	9.4	0.74	1.96	14.3	10.0	40.9	36	61
...	9.8	0.75	1.98	14.6	10.0	38.7	37	62
...	9.7	0.73	2.00	13.4	9.3	36.2	38	63
...	9.9	0.74	2.05	13.2	9.1	33.1	39	64
...	9.7	0.79	2.14	13.7	9.3	30.1	40	65
...	9.5	0.80	1.58	12.7	8.7	31.3	41	66
...	9.6	0.84	2.23	12.6	8.5	26.3	42	67
...	9.5	0.87	2.13	12.5	8.4	24.5	43	68
...	9.6	0.89	2.13	12.4	8.2	23.0	44	69
...	10.0	0.93	2.13	12.3	8.2	21.7	45	1970
...	10.5	0.99	2.16	11.5	7.6	20.4	46	71
...	10.4	1.02	2.14	11.2	7.4	19.0	47	72
...	9.9	1.04	2.14	11.2	7.4	18.0	48	73
...	9.1	1.04	2.05	10.9	7.2	16.9	49	74
...	8.5	1.07	1.91	10.4	6.9	16.0	50	75
...	7.8	1.11	1.85	10.1	6.6	14.8	51	76
...	7.2	1.14	1.80	9.6	6.2	14.1	52	77
...	6.9	1.15	1.79	9.4	6.0	13.0	53	78
21.6	6.8	1.17	1.77	9.0	5.7	12.5	54	79
20.2	6.7	1.22	1.75	9.2	5.8	11.7	55	1980
19.5	6.6	1.32	1.74	8.9	5.6	10.8	56	81
18.3	6.6	1.39	1.77	8.5	5.2	10.1	57	82
16.9	6.4	1.51	1.80	8.6	5.2	9.3	58	83
16.6	6.2	1.50	1.81	8.3	5.0	8.7	59	84
15.4	6.1	1.39	1.76	8.1	4.8	8.0	60	85
14.6	5.9	1.37	1.72	7.8	4.6	7.3	61	86
13.7	5.7	1.30	1.69	7.6	4.4	6.9	62	87
12.7	5.8	1.26	1.66	7.7	4.5	6.5	63	88
12.1	5.8	1.29	1.57	7.4	4.2	6.0	平成元年	89
11.1	5.9	1.28	1.54	7.5	4.2	5.7	2	1990
8.5	6.0	1.37	1.53	7.4	4.1	5.3	3	91
8.1	6.1	1.45	1.50	7.4	4.0	5.2	4	92
7.7	6.4	1.52	1.46	7.3	4.0	5.0	5	93
7.5	6.3	1.57	1.50	7.1	3.8	5.0	6	94
7.0	6.4	1.60	1.42	7.2	3.8	4.7	7	95
6.7	6.4	1.66	1.43	6.8	3.6	4.4	8	96
6.4	6.2	1.78	1.39	6.7	3.5	4.2	9	97
6.2	6.3	1.94	1.38	6.6	3.4	4.1	10	98
6.0	6.1	2.00	1.34	6.7	3.4	4.0	11	99
5.8	6.4	2.10	1.36	6.3	3.2	3.8	12	2000
5.5	6.4	2.27	1.33	6.2	3.1	3.6	13	01
5.5	6.0	2.30	1.32	6.0	3.0	3.7	14	02
5.3	5.9	2.25	1.29	6.0	3.0	3.6	15	03
5.0	5.7	2.15	1.29	5.9	3.0	3.3	16	04
4.8	5.7	2.08	1.26	5.9	3.0	3.3	17	05
4.7	5.8	2.04	1.32	5.7	2.9	3.1	18	06
4.5	5.7	2.02	1.34	5.6	2.8	3.0	19	07
4.3	5.8	1.99	1.37	5.6	2.8	2.9	20	08
4.2	5.6	2.01	1.37	5.4	2.7	2.9	21	09
4.2	5.5	1.99	1.39	5.4	2.7	2.9	22	2010

4) (参考)の周産期死亡率は妊娠満28週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出生数で除したものである。
平成7年から、周産期死亡のうち死産については妊娠満28週以後から妊娠満22週以後に変更されたが、
継続観察のため本数値を参考として掲載している。

第3表-1 人口動態総覧，都道府県（20大都市再掲）別

都道府県	出生数			死亡数			(再掲)			新生児 死亡数
	総数	男	女	総数	男	女	乳児死亡数			
							総数	男	女	
全 国	1 071 304	550 742	520 562	1 197 012	633 700	563 312	2 450	1 355	1 095	1 167
北海道	40 158	20 518	19 640	55 404	29 845	25 559	84	49	35	41
青森	9 711	4 949	4 762	16 030	8 552	7 478	21	13	8	12
岩手	9 745	4 939	4 806	15 756	8 188	7 568	26	13	13	16
宮城	19 126	9 810	9 316	21 932	11 577	10 355	47	23	24	18
秋田	6 688	3 450	3 238	14 288	7 487	6 801	15	7	8	6
山形	8 651	4 478	4 173	14 084	7 243	6 841	25	9	16	12
福島	16 126	8 371	7 755	22 747	11 902	10 845	49	31	18	19
茨城	23 989	12 326	11 663	28 615	15 255	13 360	60	37	23	37
栃木	16 473	8 516	7 957	19 712	10 407	9 305	34	20	14	15
群馬	16 023	8 258	7 765	20 385	10 633	9 752	35	18	17	18
埼玉	59 437	30 805	28 632	55 487	30 709	24 778	133	73	60	62
千葉	51 633	26 687	24 946	50 014	27 319	22 695	117	73	44	58
東京都	108 135	55 420	52 715	104 238	56 443	47 795	212	114	98	95
神奈川県	78 077	39 873	38 204	67 760	37 471	30 289	203	107	96	104
新潟	18 083	9 246	8 837	26 618	13 839	12 779	31	21	10	13
富山	8 188	4 279	3 909	11 875	6 156	5 719	25	10	15	11
石川	9 602	4 944	4 658	11 607	6 030	5 577	30	18	12	17
福井	6 874	3 538	3 336	8 417	4 282	4 135	15	8	7	8
山梨	6 651	3 416	3 235	9 268	4 872	4 396	7	4	3	2
長野	17 233	8 796	8 437	23 133	11 790	11 343	25	16	9	14
岐阜	16 887	8 753	8 134	20 220	10 603	9 617	41	28	13	21
静岡県	31 896	16 344	15 552	36 420	19 072	17 348	68	29	39	34
愛知	69 872	36 069	33 803	58 477	31 914	26 563	153	92	61	79
三重	15 262	7 865	7 397	18 691	9 674	9 017	37	25	12	14
滋賀	13 363	6 897	6 466	11 602	5 982	5 620	39	21	18	22
京都府	21 234	10 996	10 238	23 714	12 038	11 676	52	29	23	28
大阪府	75 080	38 441	36 639	76 556	41 641	34 915	161	92	69	77
兵庫県	47 834	24 664	23 170	51 568	27 056	24 512	105	50	55	39
奈良	10 694	5 532	5 162	13 036	6 817	6 219	24	17	7	8
和歌山	7 587	3 858	3 729	12 049	6 185	5 864	16	5	11	10
鳥取	4 790	2 463	2 327	6 947	3 503	3 444	24	8	16	12
島根	5 756	2 928	2 828	9 109	4 621	4 488	13	10	3	7
岡山	16 759	8 644	8 115	20 248	10 455	9 793	29	20	9	14
広島	25 546	13 086	12 460	27 561	14 384	13 177	64	34	30	28
山口	11 551	5 864	5 687	17 646	9 007	8 639	31	18	13	17
徳島	5 904	3 042	2 862	9 307	4 773	4 534	16	7	9	7
香川	8 397	4 354	4 043	11 064	5 686	5 378	22	9	13	10
愛媛	11 427	5 879	5 548	16 344	8 443	7 901	19	12	7	9
高知	5 518	2 858	2 660	9 769	4 944	4 825	15	6	9	6
福岡	46 818	24 211	22 607	46 996	24 231	22 765	105	62	43	55
佐賀	7 640	3 943	3 697	9 212	4 701	4 511	18	9	9	8
長崎	12 004	6 167	5 837	16 303	8 291	8 012	38	22	16	17
熊本	16 246	8 304	7 942	19 217	9 672	9 545	42	24	18	19
大分	10 072	5 105	4 967	12 988	6 622	6 366	27	14	13	13
宮崎	10 217	5 242	4 975	12 334	6 279	6 055	14	7	7	4
鹿児島	15 124	7 779	7 345	20 294	10 152	10 142	34	15	19	15
沖縄	17 098	8 771	8 327	10 156	5 416	4 740	46	24	22	13
外 不詳	125 .	64 .	61 .	176 1 638	129 1 409	47 229	1 2	1 1	- 1	1 2
(再掲)										
東京都の区部	73 740	37 821	35 919	72 069	39 145	32 924	136	73	63	59
札幌市	14 739	7 561	7 178	15 482	8 321	7 161	26	16	10	15
仙台市	9 295	4 716	4 579	7 371	3 925	3 446	25	13	12	12
さいたま市	11 131	5 734	5 397	8 645	4 804	3 841	31	20	11	14
千葉市	8 087	4 177	3 910	7 011	3 960	3 051	22	16	6	15
横浜市	32 053	16 325	15 728	27 304	15 287	12 017	72	38	34	37
川崎市	14 292	7 399	6 893	9 272	5 257	4 015	41	22	19	20
相模原市	6 036	3 072	2 964	4 780	2 696	2 084	18	6	12	8
新潟市	6 531	3 287	3 244	7 604	4 020	3 584	8	6	2	3
静岡市	5 794	2 985	2 809	7 058	3 775	3 283	7	5	2	3
浜松市	7 209	3 782	3 427	7 033	3 617	3 416	16	5	11	6
名古屋市	20 125	10 403	9 722	19 014	10 435	8 579	34	18	16	20
京都市	11 556	5 973	5 583	13 012	6 577	6 435	28	18	10	16
大阪市	23 061	11 778	11 283	25 925	14 451	11 474	59	31	28	33
堺市	7 504	3 862	3 642	7 347	3 947	3 400	14	10	4	7
神戸市	12 665	6 518	6 147	14 048	7 376	6 672	31	20	11	14
岡山市	6 752	3 399	3 353	6 088	3 227	2 861	10	6	4	5
広島市	11 478	5 843	5 635	9 102	4 808	4 294	29	14	15	15
北九州市	8 302	4 301	4 001	10 083	5 247	4 836	16	9	7	7
福岡市	14 483	7 462	7 021	10 131	5 284	4 847	36	20	16	24

注：1 都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。
 2 相模原市は平成22年4月から政令指定都市となったが、1月からの数値を計上している。

自然増減数	死産数			周産期死亡数			婚姻件数	離婚件数	都道府県
	総数	自然死産	人工死産	総数	妊娠満22週以後の死産	早期新生児死亡			
△ 125 708	26 560	12 245	14 315	4 515	3 637	878	700 214	251 378	全 国
△ 15 246	1 260	512	748	171	138	33	28 389	12 596	北 海 道
△ 6 319	283	142	141	39	30	9	5 924	2 679	青 森
△ 6 011	291	133	158	59	53	6	5 724	2 327	岩 手
△ 2 806	495	210	285	72	61	11	11 972	4 667	宮 城
△ 7 600	181	102	79	44	39	5	4 281	1 795	秋 田
△ 5 433	231	116	115	35	27	8	5 159	1 887	山 形
△ 6 621	487	217	270	75	62	13	9 582	3 965	福 島
△ 4 626	600	261	339	112	84	28	15 044	5 693	茨 城
△ 3 239	398	169	229	63	54	9	10 616	3 898	栃 木
△ 4 362	399	193	206	71	56	15	9 679	3 865	群 馬
3 950	1 375	690	685	252	205	47	39 160	14 325	埼 玉
1 619	1 238	630	608	213	169	44	34 785	12 391	千 葉
3 897	2 587	1 143	1 444	424	352	72	91 196	26 335	東 京
10 317	1 666	871	795	379	298	81	54 203	17 830	神 奈 川
△ 8 535	474	232	242	85	75	10	11 018	3 438	新 潟
△ 3 687	188	106	82	33	26	7	4 928	1 569	富 石
△ 2 005	213	122	91	54	41	13	5 829	1 817	山 川
△ 1 543	159	72	87	20	14	6	3 705	1 233	福 井
△ 2 617	161	68	93	28	28	-	4 221	1 693	山 梨
△ 5 900	395	181	214	62	48	14	10 318	3 636	長 野
△ 3 333	382	171	211	65	48	17	10 087	3 395	岐 阜
△ 4 524	716	379	337	134	107	27	20 323	7 241	静 岡
11 395	1 402	665	737	281	224	57	45 039	14 253	愛 知
△ 3 429	335	182	153	67	57	10	9 396	3 461	三 重
1 761	286	162	124	77	60	17	7 691	2 466	滋 賀
△ 2 480	482	208	274	97	72	25	13 664	4 964	京 都
△ 1 476	1 907	824	1 083	303	245	58	51 242	20 752	阪 神
△ 3 734	1 070	512	558	175	147	28	29 752	10 738	大 阪
△ 2 342	275	138	137	42	35	7	6 595	2 602	兵 庫
△ 4 462	176	78	98	34	26	8	4 771	2 077	奈 良
△ 2 157	138	67	71	29	19	10	2 834	1 141	和 歌 山
△ 3 353	143	67	76	23	17	6	3 283	1 110	鳥 取
△ 3 489	418	163	255	59	48	11	9 894	3 626	島 根
△ 2 015	555	254	301	100	78	22	15 402	5 472	岡 山
△ 6 095	265	127	138	46	32	14	6 966	2 531	広 島
△ 3 403	152	73	79	26	22	4	3 573	1 445	山 口
△ 2 667	206	125	81	37	29	8	4 975	1 928	徳 島
△ 4 917	341	112	229	39	33	6	6 922	2 811	香 川
△ 4 251	166	65	101	19	14	5	3 328	1 463	愛 媛
△ 178	1 366	582	784	200	160	40	29 247	10 952	高 知
△ 1 572	233	103	130	35	28	7	4 210	1 536	福 岡
△ 4 299	362	173	189	53	41	12	6 647	2 515	佐 賀
△ 2 971	430	172	258	56	41	15	9 098	3 623	長 崎
△ 2 916	312	128	184	52	42	10	6 076	2 314	熊 本
△ 2 117	317	103	214	31	29	2	5 892	2 415	大 分
△ 5 170	467	181	286	67	54	13	8 682	3 328	宮 崎
6 942	560	255	305	70	65	5	8 892	3 580	鹿 児 島
△ 51	12	3	9	2	1	1	.	.	沖 縄
.	5	3	2	5	3	2	.	.	外 国
									不 詳
									(再掲)
△ 1 671	1 828	805	1 023	283	239	44	68 035	18 868	東京都の区部
743	443	171	272	60	49	11	11 522	4 727	札 幌 市
1 924	211	83	128	27	20	7	6 323	2 124	仙 台 市
2 486	263	144	119	52	42	10	7 286	2 257	さい たま 市
1 076	192	110	82	40	26	14	5 459	2 007	千 葉 市
4 749	664	369	295	149	117	32	22 305	7 076	横 浜 市
5 020	263	148	115	63	52	11	10 828	2 851	川 崎 市
1 256	142	65	77	31	24	7	4 129	1 511	相 模 原 市
△ 1 073	174	75	99	28	25	3	4 173	1 294	新 潟 市
△ 1 264	144	66	78	19	16	3	3 891	1 354	静 岡 市
176	146	87	59	28	23	5	4 532	1 457	浜 松 市
1 111	455	191	264	90	75	15	14 523	4 878	名 古 屋 市
△ 1 456	252	102	150	53	40	13	8 141	2 904	京 都 市
△ 2 864	607	260	347	104	77	27	18 762	7 218	大 阪 市
157	168	57	111	26	20	6	4 784	1 888	堺 市
△ 1 383	295	138	157	46	38	8	8 395	3 126	神 戸 市
664	151	60	91	26	21	5	4 071	1 348	岡 山 市
2 376	234	104	130	46	34	12	6 953	2 351	広 島 市
△ 1 781	274	105	169	30	27	3	5 429	2 146	北 九 州 市
4 352	410	172	238	67	48	19	10 198	3 229	福 岡 市

第3表-2 人口動態総覧（率），都道府県（20大都市再掲）別

都道府県	出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率 ¹⁾	自然死産率	人工死産率
	(人口千対)	(人口千対)	(出生千対)		(人口千対)	(出 産 千 対)		
全 国	8.5	9.5	2.3	1.1	△ 1.0	24.2	11.2	13.0
北海道	7.3	10.1	2.1	1.0	△ 2.8	30.4	12.4	18.1
青森	7.1	11.7	2.2	1.2	△ 4.6	28.3	14.2	14.1
岩手	7.4	11.9	2.7	1.6	△ 4.5	29.0	13.3	15.7
宮城	8.2	9.4	2.5	0.9	△ 1.2	25.2	10.7	14.5
秋田	6.2	13.2	2.2	0.9	△ 7.0	26.4	14.8	11.5
山形	7.4	12.1	2.9	1.4	△ 4.7	26.0	13.1	12.9
福島	8.0	11.3	3.0	1.2	△ 3.3	29.3	13.1	16.3
茨城	8.2	9.8	2.5	1.5	△ 1.6	24.4	10.6	13.8
栃木	8.3	10.0	2.1	0.9	△ 1.6	23.6	10.0	13.6
群馬	8.1	10.3	2.2	1.1	△ 2.2	24.3	11.8	12.5
埼玉	8.4	7.8	2.2	1.0	0.6	22.6	11.3	11.3
千葉	8.4	8.2	2.3	1.1	0.3	23.4	11.9	11.5
東京都	8.4	8.1	2.0	0.9	0.3	23.4	10.3	13.0
神奈川県	8.8	7.6	2.6	1.3	1.2	20.9	10.9	10.0
新潟	7.7	11.3	1.7	0.7	△ 3.6	25.5	12.5	13.0
富山	7.6	11.0	3.1	1.3	△ 3.4	22.4	12.7	9.8
石川	8.3	10.0	3.1	1.8	△ 1.7	21.7	12.4	9.3
福井	8.6	10.6	2.2	1.2	△ 1.9	22.6	10.2	12.4
山梨	7.8	10.9	1.1	0.3	△ 3.1	23.6	10.0	13.7
長野	8.1	10.9	1.5	0.8	△ 2.8	22.4	10.3	12.1
岐阜	8.3	9.9	2.4	1.2	△ 1.6	22.1	9.9	12.2
静岡県	8.6	9.8	2.1	1.1	△ 1.2	22.0	11.6	10.3
愛知県	9.6	8.1	2.2	1.1	1.6	19.7	9.3	10.3
三重	8.4	10.3	2.4	0.9	△ 1.9	21.5	11.7	9.8
滋賀	9.6	8.4	2.9	1.6	1.3	21.0	11.9	9.1
京都府	8.2	9.1	2.4	1.3	△ 1.0	22.2	9.6	12.6
大阪府	8.6	8.8	2.1	1.0	△ 0.2	24.8	10.7	14.1
兵庫県	8.7	9.4	2.2	0.8	△ 0.7	21.9	10.5	11.4
奈良	7.7	9.4	2.2	0.7	△ 1.7	25.1	12.6	12.5
和歌山	7.6	12.1	2.1	1.3	△ 4.5	22.7	10.0	12.6
鳥取	8.2	11.9	5.0	2.5	△ 3.7	28.0	13.6	14.4
島根	8.1	12.8	2.3	1.2	△ 4.7	24.2	11.4	12.9
岡山	8.7	10.5	1.7	0.8	△ 1.8	24.3	9.5	14.8
広島	9.0	9.7	2.5	1.1	△ 0.7	21.3	9.7	11.5
山口	8.0	12.3	2.7	1.5	△ 4.2	22.4	10.7	11.7
徳島	7.6	11.9	2.7	1.2	△ 4.4	25.1	12.1	13.0
香川県	8.5	11.2	2.6	1.2	△ 2.7	23.9	14.5	9.4
愛媛	8.0	11.5	1.7	0.8	△ 3.5	29.0	9.5	19.5
高知	7.2	12.8	2.7	1.1	△ 5.6	29.2	11.4	17.8
福岡	9.3	9.3	2.2	1.2	△ 0.0	28.3	12.1	16.3
佐賀	9.0	10.9	2.4	1.0	△ 1.9	29.6	13.1	16.5
長崎	8.5	11.5	3.2	1.4	△ 3.0	29.3	14.0	15.3
熊本	9.0	10.6	2.6	1.2	△ 1.6	25.8	10.3	15.5
大分	8.5	10.9	2.7	1.3	△ 2.5	30.0	12.3	17.7
宮崎	9.0	10.9	1.4	0.4	△ 1.9	30.1	9.8	20.3
鹿児島	8.9	11.9	2.2	1.0	△ 3.0	30.0	11.6	18.3
沖縄	12.3	7.3	2.7	0.8	5.0	31.7	14.4	17.3
(再掲)								
東京都の区部	8.5	8.3	1.8	0.8	0.2	24.2	10.7	13.5
札幌市	7.7	8.1	1.8	1.0	△ 0.4	29.2	11.3	17.9
仙台市	9.0	7.1	2.7	1.3	1.9	22.2	8.7	13.5
さいたま市	9.2	7.1	2.8	1.3	2.1	23.1	12.6	10.4
千葉市	8.5	7.4	2.7	1.9	1.1	23.2	13.3	9.9
横浜市	8.8	7.5	2.2	1.2	1.3	20.3	11.3	9.0
川崎市	10.2	6.6	2.9	1.4	3.6	18.1	10.2	7.9
相模原市	8.5	6.7	3.0	1.3	1.8	23.0	10.5	12.5
新潟市	8.1	9.4	1.2	0.5	△ 1.3	26.0	11.2	14.8
静岡市	8.2	9.9	1.2	0.5	△ 1.8	24.3	11.1	13.1
浜松市	9.2	9.0	2.2	0.8	0.2	19.9	11.8	8.0
名古屋市	9.1	8.6	1.7	1.0	0.5	22.1	9.3	12.8
京都市	8.0	9.0	2.4	1.4	△ 1.0	21.3	8.6	12.7
大阪市	9.0	10.1	2.6	1.4	△ 1.1	25.6	11.0	14.7
堺市	9.0	8.8	1.9	0.9	0.2	21.9	7.4	14.5
神戸市	8.4	9.3	2.4	1.1	△ 0.9	22.8	10.6	12.1
岡山市	9.6	8.7	1.5	0.7	0.9	21.9	8.7	13.2
広島市	9.9	7.8	2.5	1.3	2.0	20.0	8.9	11.1
北九州市	8.6	10.4	1.9	0.8	△ 1.8	31.9	12.2	19.7
福岡市	10.0	7.0	2.5	1.7	3.0	27.5	11.5	16.0

注：1 全国には住所が外国・不詳を含む。
 2 人口千対の率算出に用いた人口は付表「諸率の算出に用いた人口」19ページ参照。
 3 合計特殊出生率の算出には、全国値は各歳別の女性の日本人口、都道府県及び指定都市の値は5歳階級別の女性の日本人口を用いた。
 4 相模原市は平成22年4月から指定都市となったが、1月からの数値を計上している。

周産期 ²⁾ 死亡率 (出産千対)	妊娠満22週 ²⁾ 以後の死産率	早期新生児 死亡率 (出生千対)	婚 姻 率 (人口千対)	離 婚 率 (人口千対)	合計特殊 出生率	都道府県
4.2	3.4	0.8	5.5	1.99	1.39	全 国
4.2	3.4	0.8	5.2	2.30	1.26	北 海 道
4.0	3.1	0.9	4.3	1.96	1.38	青 森 県
6.0	5.4	0.6	4.3	1.76	1.46	岩 手 県
3.8	3.2	0.6	5.1	2.00	1.30	宮 城 県
6.5	5.8	0.7	4.0	1.66	1.31	秋 田 県
4.0	3.1	0.9	4.4	1.62	1.48	山 形 県
4.6	3.8	0.8	4.7	1.96	1.52	福 島 県
4.7	3.5	1.2	5.1	1.94	1.44	茨 城 県
3.8	3.3	0.5	5.4	1.97	1.44	栃 木 県
4.4	3.5	0.9	4.9	1.96	1.46	群 馬 県
4.2	3.4	0.8	5.5	2.02	1.32	埼 千 県
4.1	3.3	0.9	5.7	2.02	1.34	玉 葉 県
3.9	3.2	0.7	7.1	2.05	1.12	東 京 都
4.8	3.8	1.0	6.1	2.00	1.31	神 奈 川 県
4.7	4.1	0.6	4.7	1.46	1.43	新 潟 県
4.0	3.2	0.9	4.6	1.45	1.42	富 石 県
5.6	4.3	1.4	5.0	1.57	1.44	山 川 県
2.9	2.0	0.9	4.7	1.55	1.61	福 井 県
4.2	4.2	-	5.0	1.99	1.46	山 梨 県
3.6	2.8	0.8	4.9	1.71	1.53	山 長 野 県
3.8	2.8	1.0	4.9	1.66	1.48	岐 阜 県
4.2	3.3	0.8	5.5	1.96	1.54	静 岡 県
4.0	3.2	0.8	6.2	1.97	1.52	愛 知 県
4.4	3.7	0.7	5.2	1.90	1.51	三 重 県
5.7	4.5	1.3	5.5	1.78	1.54	滋 賀 県
4.6	3.4	1.2	5.3	1.91	1.28	京 都 府
4.0	3.3	0.8	5.9	2.39	1.33	大 阪 府
3.6	3.1	0.6	5.4	1.95	1.41	兵 庫 県
3.9	3.3	0.7	4.7	1.87	1.29	奈 良 県
4.5	3.4	1.1	4.8	2.08	1.47	和 歌 山 県
6.0	4.0	2.1	4.8	1.95	1.54	鳥 取 県
4.0	2.9	1.0	4.6	1.56	1.68	島 根 県
3.5	2.9	0.7	5.1	1.88	1.50	山 梨 県
3.9	3.0	0.9	5.4	1.94	1.55	岡 山 県
4.0	2.8	1.2	4.8	1.76	1.56	広 島 県
4.4	3.7	0.7	4.6	1.85	1.42	山 口 県
4.4	3.4	1.0	5.0	1.95	1.57	徳 島 県
3.4	2.9	0.5	4.9	1.97	1.50	香 川 県
3.4	2.5	0.9	4.4	1.92	1.42	愛 媛 県
4.3	3.4	0.9	5.8	2.18	1.44	高 知 県
4.6	3.7	0.9	5.0	1.82	1.61	福 岡 県
4.4	3.4	1.0	4.7	1.77	1.61	佐 賀 県
3.4	2.5	0.9	5.0	2.00	1.62	長 崎 県
5.1	4.2	1.0	5.1	1.95	1.56	熊 本 県
3.0	2.8	0.2	5.2	2.13	1.68	大 分 県
4.4	3.6	0.9	5.1	1.96	1.62	宮 崎 県
4.1	3.8	0.3	6.4	2.58	1.87	鹿 児 島 県
						沖 縄 県
						(再掲)
3.8	3.2	0.6	7.8	2.18	1.08	東京都の区部
4.1	3.3	0.7	6.0	2.48	1.09	札 幌 市
2.9	2.1	0.8	6.1	2.05	1.20	札幌市
4.7	3.8	0.9	6.0	1.87	1.38	仙台市
4.9	3.2	1.7	5.8	2.12	1.35	さいたま市
4.6	3.6	1.0	6.1	1.95	1.31	千葉市
4.4	3.6	0.8	7.7	2.04	1.30	横 浜 市
5.1	4.0	1.2	5.8	2.13	1.28	川 崎 市
4.3	3.8	0.5	5.2	1.60	1.31	相 模 原 市
3.3	2.8	0.5	5.5	1.91	1.42	新 潟 市
3.9	3.2	0.7	5.8	1.86	1.57	静 岡 市
4.5	3.7	0.7	6.6	2.21	1.36	浜 松 市
4.6	3.4	1.1	5.7	2.02	1.17	名古屋市
4.5	3.3	1.2	7.3	2.81	1.26	京 都 市
3.5	2.7	0.8	5.7	2.27	1.43	大 阪 市
3.6	3.0	0.6	5.6	2.07	1.29	大 塚 市
3.8	3.1	0.7	5.8	1.92	1.45	神 戸 市
4.0	3.0	1.0	6.0	2.03	1.47	岡 山 市
3.6	3.2	0.4	5.6	2.22	1.48	広 島 市
4.6	3.3	1.3	7.1	2.23	1.25	北 九 州 市
						福 岡 市

注： 1) 死産率は死産数を出産数(死産数に出生数を加えたもの)で除している。

2) 周産期死亡率、妊娠満22週以後の死産率は、それぞれ周産期死亡数、妊娠満22週以後の死産数を出産数(妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの)で除している。

第4表 母の年齢（5歳階級）・出生順位別にみた出生数

(1) 母の年齢（5歳階級）別

母の年齢	昭和60年	平成7年	12年	17年	19年	20年	21年	22年
総数	1 431 577	1 187 064	1 190 547	1 062 530	1 089 818	1 091 156	1 070 035	1 071 304
14歳以下	23	37	43	42	39	38	67	51
15～19	17 854	16 075	19 729	16 531	15 211	15 427	14 620	13 495
20～24	247 341	193 514	161 361	128 135	126 180	124 691	116 808	110 956
25～29	682 885	492 714	470 833	339 328	324 041	317 753	307 765	306 910
30～34	381 466	371 773	396 901	404 700	412 611	404 771	389 793	384 385
35～39	93 501	100 053	126 409	153 440	186 568	200 328	209 706	220 101
40～44	8 224	12 472	14 848	19 750	24 553	27 522	30 566	34 609
45～49	244	414	396	564	590	594	684	773
50歳以上	1	-	6	34	19	24	20	19

注：総数には母の年齢不詳を含む。

(2) 出生順位別

出生順位	昭和60年	平成7年	12年	17年	19年	20年	21年	22年
総数	1 431 577	1 187 064	1 190 547	1 062 530	1 089 818	1 091 156	1 070 035	1 071 304
第1子	602 005	567 530	583 220	512 412	519 767	517 724	512 742	509 736
第2子	562 920	428 394	434 964	399 307	403 656	402 152	390 073	390 212
第3子以上	266 652	191 140	172 363	150 811	166 395	171 280	167 220	171 356

注：出生順位とは、同じ母親がこれまでに生んだ出生子の総数について数えた順序である。

(3) 母の年齢（5歳階級）・出生順位別

母の年齢	平成22年				平成21年			
	総数	第1子	第2子	第3子以上	総数	第1子	第2子	第3子以上
総数	1 071 304	509 736	390 212	171 356	1 070 035	512 742	390 073	167 220
14歳以下	51	51	-	-	67	67	-	-
15～19	13 495	12 051	1 388	56	14 620	13 102	1 444	74
20～24	110 956	74 635	30 838	5 483	116 808	79 224	31 812	5 772
25～29	306 910	174 264	99 951	32 695	307 765	176 222	100 084	31 459
30～34	384 385	161 537	156 033	66 815	389 793	163 474	159 422	66 897
35～39	220 101	74 576	89 428	56 097	209 706	69 866	86 138	53 702
40～44	34 609	12 297	12 356	9 956	30 566	10 525	10 998	9 043
45～49	773	312	209	252	684	249	167	268
50歳以上	19	9	8	2	20	8	7	5

注：総数には母の年齢不詳を含む。

第5表 母の年齢（5歳階級）・出生順位別にみた合計特殊出生率（内訳）

(1) 母の年齢（5歳階級）別

母の年齢	昭和60年	平成7年	12年	17年	19年	20年	21年	22年
総数 (合計特殊出生率)	1.76	1.42	1.36	1.26	1.34	1.37	1.37	1.39
15～19歳	0.0229	0.0185	0.0269	0.0253	0.0246	0.0256	0.0249	0.0232
20～24	0.3173	0.2022	0.1965	0.1823	0.1831	0.1847	0.1779	0.1781
25～29	0.8897	0.5880	0.4967	0.4228	0.4341	0.4378	0.4320	0.4356
30～34	0.4397	0.4677	0.4620	0.4285	0.4614	0.4718	0.4756	0.4789
35～39	0.0846	0.1311	0.1572	0.1761	0.2025	0.2132	0.2217	0.2318
40～44	0.0094	0.0148	0.0194	0.0242	0.0305	0.0329	0.0354	0.0387
45～49	0.0003	0.0004	0.0005	0.0008	0.0008	0.0008	0.0009	0.0010

注：母の年齢階級別の数値は各歳別出生率を合計したものであり、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ15歳以下、50歳以上を含んでいる。

(2) 出生順位別

出生順位	昭和60年	平成7年	12年	17年	19年	20年	21年	22年
総数 (合計特殊出生率)	1.76	1.42	1.36	1.26	1.34	1.37	1.37	1.39
第1子	0.7611	0.6607	0.6617	0.6240	0.6590	0.6712	0.6782	0.6835
第2子	0.6950	0.5209	0.4949	0.4643	0.4847	0.4933	0.4889	0.4956
第3子以上	0.3078	0.2410	0.2026	0.1717	0.1933	0.2023	0.2013	0.2082

注：出生順位別の数値は出生順位ごとに15歳から49歳の母の各歳別出生率を合計したものであり、これを第1子から第3子以上まで合計したものが、合計特殊出生率である。なお、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

(3) 母の年齢（5歳階級）・出生順位別

	平成22年				平成21年			
	総数	第1子	第2子	第3子以上	総数	第1子	第2子	第3子以上
総数	1.39	0.6835	0.4956	0.2082	1.37	0.6782	0.4889	0.2013
15～19歳	0.0232	0.0207	0.0024	0.0001	0.0249	0.0223	0.0024	0.0001
20～24	0.1781	0.1202	0.0493	0.0087	0.1779	0.1211	0.0482	0.0087
25～29	0.4356	0.2475	0.1417	0.0463	0.4320	0.2476	0.1403	0.0441
30～34	0.4789	0.2024	0.1940	0.0826	0.4756	0.2008	0.1940	0.0808
35～39	0.2318	0.0786	0.0942	0.0590	0.2217	0.0738	0.0910	0.0568
40～44	0.0387	0.0138	0.0138	0.0112	0.0354	0.0122	0.0127	0.0105
45～49	0.0010	0.0004	0.0003	0.0003	0.0009	0.0003	0.0002	0.0003

注：1 母の年齢階級別の数値は各歳別出生率を合計したものであり、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

2 出生順位別の総数の数値は出生順位ごとに15歳から49歳の母の各歳別出生率を合計したものであり、これを第1子から第3子以上まで合計したものが、合計特殊出生率である。

第6表 性別にみた死因順位（第10位まで）別 死亡数・死亡率（人口10万対）・構成割合

死 因	平成 22 年			平成 21 年			対前年増減	
	死亡数	死亡率	死亡総数に占める割合 (%)	死亡数	死亡率	死亡総数に占める割合 (%)	死亡数	死亡率
総 数								
全 死 因	1 197 012	947.1	100.0	1 141 865	907.5	100.0	55 147	39.6
悪 性 新 生 物 疾 患	(1) 353 499	279.7	29.5	(1) 344 105	273.5	30.1	9 394	6.2
心 疾 患	(2) 189 360	149.8	15.8	(2) 180 745	143.7	15.8	8 615	6.1
脳 血 管 疾 患	(3) 123 461	97.7	10.3	(3) 122 350	97.2	10.7	1 111	0.5
肺 炎	(4) 118 888	94.1	9.9	(4) 112 004	89.0	9.8	6 884	5.1
老 衰	(5) 45 342	35.9	3.8	(5) 38 670	30.7	3.4	6 672	5.2
不 慮 の 事 故	(6) 40 732	32.2	3.4	(6) 37 756	30.0	3.3	2 976	2.2
自 殺	(7) 29 554	23.4	2.5	(7) 30 707	24.4	2.7	△ 1 153	△ 1.0
腎 不 全	(8) 23 725	18.8	2.0	(8) 22 743	18.1	2.0	982	0.7
慢 性 閉 塞 性 肺 疾 患	(9) 16 293	12.9	1.4	(10) 15 359	12.2	1.3	934	0.7
肝 疾 患	(10) 16 216	12.8	1.4	(9) 15 969	12.7	1.4	247	0.1
男								
全 死 因	633 700	1 029.2	100.0	609 042	992.9	100.0	24 658	36.3
悪 性 新 生 物 疾 患	(1) 211 435	343.4	33.4	(1) 206 352	336.4	33.9	5 083	7.0
心 疾 患	(2) 88 803	144.2	14.0	(2) 85 543	139.5	14.0	3 260	4.7
肺 炎	(3) 63 569	103.2	10.0	(3) 59 889	97.6	9.8	3 680	5.6
脳 血 管 疾 患	(4) 60 186	97.7	9.5	(4) 59 293	96.7	9.7	893	1.0
不 慮 の 事 故	(5) 23 975	38.9	3.8	(5) 22 588	36.8	3.7	1 387	2.1
自 殺	(6) 21 028	34.2	3.3	(6) 22 189	36.2	3.6	△ 1 161	△ 2.0
慢 性 閉 塞 性 肺 疾 患	(7) 12 681	20.6	2.0	(7) 11 940	19.5	2.0	741	1.1
腎 不 全	(8) 11 035	17.9	1.7	(8) 10 716	17.5	1.8	319	0.4
老 衰	(9) 10 787	17.5	1.7	(10) 9 301	15.2	1.5	1 486	2.3
肝 疾 患	(10) 10 619	17.2	1.7	(9) 10 463	17.1	1.7	156	0.1
女								
全 死 因	563 312	869.2	100.0	532 823	826.3	100.0	30 489	42.9
悪 性 新 生 物 疾 患	(1) 142 064	219.2	25.2	(1) 137 753	213.6	25.9	4 311	5.6
心 疾 患	(2) 100 557	155.2	17.9	(2) 95 202	147.6	17.9	5 355	7.6
脳 血 管 疾 患	(3) 63 275	97.6	11.2	(3) 63 057	97.8	11.8	218	△ 0.2
肺 炎	(4) 55 319	85.4	9.8	(4) 52 115	80.8	9.8	3 204	4.6
老 衰	(5) 34 555	53.3	6.1	(5) 29 369	45.5	5.5	5 186	7.8
不 慮 の 事 故	(6) 16 757	25.9	3.0	(6) 15 168	23.5	2.8	1 589	2.4
自 殺	(7) 12 690	19.6	2.3	(7) 12 027	18.7	2.3	663	0.9
腎 不 全	(8) 8 526	13.2	1.5	(8) 8 518	13.2	1.6	8	0.0
大 動 脈 瘤 及 び 解 離	(9) 6 957	10.7	1.2	(10) 6 251	9.7	1.2	706	1.0
糖 尿 病	(10) 6 802	10.5	1.2	(9) 6 588	10.2	1.2	214	0.3

注：1 ()内の数字は、死因順位を示す。

2 「心疾患」は、「心疾患（高血圧性を除く）」である。

第7表 死因简单分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）

(3-1)

死 因 简单分類 コード	死 因	平 成 22 年						平 成 21 年	
		死 亡 数			死 亡 率			死亡数	死亡率
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数
	総 数	1 197 012	633 700	563 312	947.1	1 029.2	869.2	1 141 865	907.5
01000	感染症及び寄生虫症	25 863	12 795	13 068	20.5	20.8	20.2	25 051	19.9
01100	腸管感染症	2 313	999	1 314	1.8	1.6	2.0	2 108	1.7
01200	結核	2 129	1 338	791	1.7	2.2	1.2	2 159	1.7
01201	呼吸器結核	1 880	1 234	646	1.5	2.0	1.0	1 935	1.5
01202	その他の結核	249	104	145	0.2	0.2	0.2	224	0.2
01300	敗血症	10 676	5 112	5 564	8.4	8.3	8.6	10 251	8.1
01400	ウイルス肝炎	5 614	2 641	2 973	4.4	4.3	4.6	5 666	4.5
01401	B型ウイルス肝炎	539	328	211	0.4	0.5	0.3	633	0.5
01402	C型ウイルス肝炎	4 754	2 145	2 609	3.8	3.5	4.0	4 725	3.8
01403	その他のウイルス肝炎	321	168	153	0.3	0.3	0.2	308	0.2
01500	ヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕病	61	56	5	0.0	0.1	0.0	61	0.0
01600	その他の感染症及び寄生虫症	5 070	2 649	2 421	4.0	4.3	3.7	4 806	3.8
02000	新生物	363 641	216 614	147 027	287.7	351.8	226.9	353 941	281.3
02100	悪性新生物	353 499	211 435	142 064	279.7	343.4	219.2	344 105	273.5
02101	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	6 802	4 840	1 962	5.4	7.9	3.0	6 546	5.2
02102	食道の悪性新生物	11 867	9 992	1 875	9.4	16.2	2.9	11 713	9.3
02103	胃の悪性新生物	50 136	32 943	17 193	39.7	53.5	26.5	50 017	39.8
02104	結腸の悪性新生物	30 040	14 947	15 093	23.8	24.3	23.3	28 692	22.8
02105	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	14 198	8 974	5 224	11.2	14.6	8.1	13 742	10.9
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物	32 765	21 510	11 255	25.9	34.9	17.4	32 725	26.0
02107	胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	17 585	8 440	9 145	13.9	13.7	14.1	17 599	14.0
02108	膵の悪性新生物	28 017	14 569	13 448	22.2	23.7	20.7	26 791	21.3
02109	喉頭の悪性新生物	1 002	916	86	0.8	1.5	0.1	982	0.8
02110	気管、気管支及び肺の悪性新生物	69 813	50 395	19 418	55.2	81.8	30.0	67 583	53.7
02111	皮膚の悪性新生物	1 404	666	738	1.1	1.1	1.1	1 315	1.0
02112	乳房の悪性新生物	12 545	90	12 455	9.9	0.1	19.2	12 008	9.5
02113	子宮の悪性新生物	5 930	・	5 930	¹⁾ 9.1	・	9.1	5 524	¹⁾ 8.6
02114	卵巣の悪性新生物	4 654	・	4 654	¹⁾ 7.2	・	7.2	4 603	¹⁾ 7.1
02115	前立腺の悪性新生物	10 722	10 722	・	²⁾ 17.4	17.4	・	10 036	²⁾ 16.4
02116	膀胱の悪性新生物	6 804	4 719	2 085	5.4	7.7	3.2	6 625	5.3
02117	中枢神経系の悪性新生物	1 959	1 127	832	1.6	1.8	1.3	1 832	1.5
02118	悪性リンパ腫	10 172	5 689	4 483	8.0	9.2	6.9	9 857	7.8
02119	白血病	8 078	4 860	3 218	6.4	7.9	5.0	7 896	6.3
02120	その他のリンパ組織、造血組織及び 関連組織の悪性新生物	4 287	2 200	2 087	3.4	3.6	3.2	4 136	3.3
02121	その他の悪性新生物	24 719	13 836	10 883	19.6	22.5	16.8	23 883	19.0
02200	その他の新生物	10 142	5 179	4 963	8.0	8.4	7.7	9 836	7.8
02201	中枢神経系のその他の新生物	2 589	1 252	1 337	2.0	2.0	2.1	2 645	2.1
02202	中枢神経系を除くその他の新生物	7 553	3 927	3 626	6.0	6.4	5.6	7 191	5.7
03000	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4 336	1 948	2 388	3.4	3.2	3.7	4 040	3.2
03100	貧血	1 812	694	1 118	1.4	1.1	1.7	1 654	1.3
03200	その他の血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	2 524	1 254	1 270	2.0	2.0	2.0	2 386	1.9

注：1）女性人口10万対である。

2）男性人口10万対である。

第7表 死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）

(3-2)

死因 簡単分類 コード	死 因	平成 22 年						平成 21 年	
		死 亡 数			死 亡 率			死亡数	死亡率
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数
04000	内分泌，栄養及び代謝疾患	21 684	10 862	10 822	17.2	17.6	16.7	20 571	16.3
04100	糖尿病	14 422	7 620	6 802	11.4	12.4	10.5	13 987	11.1
04200	その他の内分泌，栄養及び代謝疾患	7 262	3 242	4 020	5.7	5.3	6.2	6 584	5.2
05000	精神及び行動の障害	8 049	2 632	5 417	6.4	4.3	8.4	7 085	5.6
05100	血管性及び詳細不明の認知症	6 451	1 788	4 663	5.1	2.9	7.2	5 635	4.5
05200	その他の精神及び行動の障害	1 598	844	754	1.3	1.4	1.2	1 450	1.2
06000	神経系の疾患	19 429	9 619	9 810	15.4	15.6	15.1	17 243	13.7
06100	髄膜炎	339	201	138	0.3	0.3	0.2	319	0.3
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	2 007	1 170	837	1.6	1.9	1.3	1 949	1.5
06300	パーキンソン病	5 136	2 445	2 691	4.1	4.0	4.2	4 580	3.6
06400	アルツハイマー病	4 166	1 514	2 652	3.3	2.5	4.1	3 460	2.7
06500	その他の神経系の疾患	7 781	4 289	3 492	6.2	7.0	5.4	6 935	5.5
07000	眼及び付属器の疾患	5	2	3	0.0	0.0	0.0	6	0.0
08000	耳及び乳様突起の疾患	19	8	11	0.0	0.0	0.0	17	0.0
09000	循環器系の疾患	341 882	163 018	178 864	270.5	264.8	276.0	329 731	262.1
09100	高血圧性疾患	6 760	2 517	4 243	5.3	4.1	6.5	6 223	4.9
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	3 601	1 296	2 305	2.8	2.1	3.6	3 374	2.7
09102	その他の高血圧性疾患	3 159	1 221	1 938	2.5	2.0	3.0	2 849	2.3
09200	心疾患（高血圧性を除く）	189 360	88 803	100 557	149.8	144.2	155.2	180 745	143.7
09201	慢性リウマチ性心疾患	2 416	743	1 673	1.9	1.2	2.6	2 298	1.8
09202	急性心筋梗塞	42 629	23 497	19 132	33.7	38.2	29.5	43 209	34.3
09203	その他の虚血性心疾患	34 588	19 253	15 335	27.4	31.3	23.7	32 272	25.6
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	9 125	2 916	6 209	7.2	4.7	9.6	8 371	6.7
09205	心筋症	3 749	2 226	1 523	3.0	3.6	2.3	3 584	2.8
09206	不整脈及び伝導障害	25 119	12 257	12 862	19.9	19.9	19.8	23 214	18.5
09207	心不全	66 858	25 327	41 531	52.9	41.1	64.1	63 101	50.2
09208	その他の心疾患	4 876	2 584	2 292	3.9	4.2	3.5	4 696	3.7
09300	脳血管疾患	123 461	60 186	63 275	97.7	97.7	97.6	122 350	97.2
09301	くも膜下出血	13 591	5 258	8 333	10.8	8.5	12.9	13 923	11.1
09302	脳内出血	33 695	18 802	14 893	26.7	30.5	23.0	33 002	26.2
09303	脳梗塞	72 885	34 548	38 337	57.7	56.1	59.2	72 238	57.4
09304	その他の脳血管疾患	3 290	1 578	1 712	2.6	2.6	2.6	3 187	2.5
09400	大動脈瘤及び解離	15 209	8 252	6 957	12.0	13.4	10.7	13 904	11.1
09500	その他の循環器系の疾患	7 092	3 260	3 832	5.6	5.3	5.9	6 509	5.2
10000	呼吸器系の疾患	187 609	105 262	82 347	148.4	171.0	127.1	175 028	139.1
10100	インフルエンザ	161	96	65	0.1	0.2	0.1	625	0.5
10200	肺炎	118 888	63 569	55 319	94.1	103.2	85.4	112 004	89.0
10300	急性気管支炎	581	228	353	0.5	0.4	0.5	596	0.5
10400	慢性閉塞性肺疾患	16 293	12 681	3 612	12.9	20.6	5.6	15 359	12.2
10500	喘息	2 065	898	1 167	1.6	1.5	1.8	2 139	1.7
10600	その他の呼吸器系の疾患	49 621	27 790	21 831	39.3	45.1	33.7	44 305	35.2
11000	消化器系の疾患	45 503	24 410	21 093	36.0	39.6	32.5	44 172	35.1
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	3 233	1 835	1 398	2.6	3.0	2.2	3 166	2.5
11200	ヘルニア及び腸閉塞	5 985	2 694	3 291	4.7	4.4	5.1	5 893	4.7

第7表 死因简单分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）

(3-3)

死因 简单分類 コード	死 因	平成 22 年						平成 21 年	
		死 亡 数			死 亡 率			死亡数	死亡率
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数
11300	肝疾患	16 216	10 619	5 597	12.8	17.2	8.6	15 969	12.7
11301	肝硬変（アルコール性を除く）	8 597	4 907	3 690	6.8	8.0	5.7	8 662	6.9
11302	その他の肝疾患	7 619	5 712	1 907	6.0	9.3	2.9	7 307	5.8
11400	その他の消化器系の疾患	20 069	9 262	10 807	15.9	15.0	16.7	19 144	15.2
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	1 319	510	809	1.0	0.8	1.2	1 154	0.9
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	5 606	2 093	3 513	4.4	3.4	5.4	5 195	4.1
14000	腎尿路生殖器系の疾患	32 874	14 362	18 512	26.0	23.3	28.6	31 012	24.6
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	3 880	1 484	2 396	3.1	2.4	3.7	3 653	2.9
14200	腎不全	23 725	11 035	12 690	18.8	17.9	19.6	22 743	18.1
14201	急性腎不全	4 144	1 860	2 284	3.3	3.0	3.5	4 021	3.2
14202	慢性腎不全	14 366	6 955	7 411	11.4	11.3	11.4	13 613	10.8
14203	詳細不明の腎不全	5 215	2 220	2 995	4.1	3.6	4.6	5 109	4.1
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	5 269	1 843	3 426	4.2	3.0	5.3	4 616	3.7
15000	妊娠、分娩及び産じょく	49	・	49	¹⁾ 0.1	・	0.1	61	¹⁾ 0.1
16000	周産期に発生した病態	639	371	268	0.5	0.6	0.4	699	0.6
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	65	43	22	0.1	0.1	0.0	72	0.1
16200	出産外傷	2	2	-	0.0	0.0	-	2	0.0
16300	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	349	197	152	0.3	0.3	0.2	366	0.3
16400	周産期に特異的な感染症	57	33	24	0.0	0.1	0.0	54	0.0
16500	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	86	44	42	0.1	0.1	0.1	99	0.1
16600	その他の周産期に発生した病態	80	52	28	0.1	0.1	0.0	106	0.1
17000	先天奇形、変形及び染色体異常	2 194	1 114	1 080	1.7	1.8	1.7	2 070	1.6
17100	神経系の先天奇形	105	54	51	0.1	0.1	0.1	83	0.1
17200	循環器系の先天奇形	1 128	559	569	0.9	0.9	0.9	1 052	0.8
17201	心臓の先天奇形	859	426	433	0.7	0.7	0.7	738	0.6
17202	その他の循環器系の先天奇形	269	133	136	0.2	0.2	0.2	314	0.2
17300	消化器系の先天奇形	97	48	49	0.1	0.1	0.1	94	0.1
17400	その他の先天奇形及び変形	563	316	247	0.4	0.5	0.4	558	0.4
17500	染色体異常、他に分類されないもの	301	137	164	0.2	0.2	0.3	283	0.2
18000	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	60 346	19 734	40 612	47.7	32.1	62.7	51 191	40.7
18100	老衰	45 342	10 787	34 555	35.9	17.5	53.3	38 670	30.7
18200	乳幼児突然死症候群	147	84	63	0.1	0.1	0.1	157	0.1
18300	その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	14 857	8 863	5 994	11.8	14.4	9.2	12 364	9.8
20000	傷病及び死亡の外因	75 965	48 346	27 619	60.1	78.5	42.6	73 598	58.5
20100	不慮の事故	40 732	23 975	16 757	32.2	38.9	25.9	37 756	30.0
20101	交通事故	7 222	4 871	2 351	5.7	7.9	3.6	7 309	5.8
20102	転倒・転落	7 517	4 335	3 182	5.9	7.0	4.9	7 312	5.8
20103	不慮の溺死及び溺水	6 948	3 786	3 162	5.5	6.1	4.9	6 435	5.1
20104	不慮の窒息	9 879	5 078	4 801	7.8	8.2	7.4	9 401	7.5
20105	煙、火及び火炎への曝露	1 338	841	497	1.1	1.4	0.8	1 364	1.1
20106	有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	862	558	304	0.7	0.9	0.5	978	0.8
20107	その他の不慮の事故	6 966	4 506	2 460	5.5	7.3	3.8	4 957	3.9
20200	自殺	29 554	21 028	8 526	23.4	34.2	13.2	30 707	24.4
20300	他殺	437	232	205	0.3	0.4	0.3	479	0.4
20400	その他の外因	5 242	3 111	2 131	4.1	5.1	3.3	4 656	3.7
22000	特殊目的用コード	-	-	-	-	-	-	-	-
22100	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	-	-	-	-	-	-	-	-

(別 表)

日本における外国人の人口動態

平成22年

国 籍	出 生 数 (母の国籍別)			死 亡 数			乳 児 死亡数
	総 数	男	女	総 数	男	女	
総 数	12 311	6 359	5 952	6 425	3 650	2 775	40
韓 国・朝 鮮	1 440	739	701	4 746	2 701	2 045	3
中 国	4 004	2 098	1 906	580	318	262	12
フィ リ ピ ン	1 309	669	640	120	30	90	6
タ イ	108	48	60	37	10	27	1
米 国	276	138	138	135	87	48	3
英 国	41	17	24	18	9	9	1
ブ ラ ジ ル	2 074	1 046	1 028	160	111	49	9
ペ ル ー	587	301	286	55	34	21	1
その他の国	2 472	1 303	1 169	574	350	224	4

国 籍	死産数 (母の国籍別)	婚 姻 件 数		離 婚 件 数	
		夫	妻	夫	妻
総 数	467	3 729		1 757	
韓 国・朝 鮮	95	710	700	403	371
中 国	89	520	647	914	946
フィ リ ピ ン	119	127	381	3	75
タ イ	5	86	123	35	45
米 国	13	569	347	17	5
英 国	3	51	17	2	2
ブ ラ ジ ル	46	791	729	71	49
ペ ル ー	22	161	171	48	45
その他の国	75	714	614	264	219

注：本表における外国人とは、次のものをいう。

出生・死産は両親とも外国籍のもの、または嫡出でない子のうち母の国籍が外国のもの

死亡・乳児死亡は死亡した者が外国籍のもの

婚姻・離婚は夫妻とも外国籍のもの

外国における日本人の人口動態

平成22年

出 生 数			死 亡 数			婚姻件数	離婚件数
総 数	男	女	総 数	男	女		
15 900	8 192	7 708	1 615	985	630	11 664	2 033

注：本表における日本人とは、次のものをいう。

出生は両親または両親の一方が日本国籍のもの

死亡は死亡した者が日本国籍のもの

婚姻・離婚は夫妻または夫妻の一方が日本国籍のもの

諸率の算出に用いた人口

都道府県・男女別人口(日本人人口)

都道府県	総 数	男	女
全 国	126 381 728	61 571 727	64 810 001
北海道	5 488 092	2 596 047	2 892 045
青森	1 369 629	644 839	724 790
岩手	1 324 924	633 657	691 267
宮城	2 335 682	1 134 707	1 200 975
秋田	1 082 603	509 065	573 538
山形	1 162 744	559 360	603 384
福島	2 019 618	981 711	1 037 907
茨城	2 929 085	1 460 874	1 468 211
栃木	1 980 746	984 884	995 862
群馬	1 972 287	971 506	1 000 781
埼玉	7 104 590	3 569 078	3 535 512
千葉	6 135 236	3 063 676	3 071 560
東京都	12 833 956	6 360 369	6 473 587
神奈川県	8 921 252	4 485 848	4 435 404
新潟	2 362 420	1 143 907	1 218 513
富山	1 082 108	522 080	560 028
石川	1 159 897	560 422	599 475
福井	795 496	385 299	410 197
山梨	850 546	417 174	433 372
長野	2 122 509	1 033 742	1 088 767
岐阜	2 043 467	990 446	1 053 021
静岡県	3 702 776	1 824 427	1 878 349
愛知県	7 247 125	3 627 629	3 619 496
三重	1 821 502	887 300	934 202
滋賀	1 388 741	685 758	702 983
京都	2 593 340	1 245 416	1 347 924
大阪	8 697 550	4 207 727	4 489 823
兵庫県	5 507 961	2 636 121	2 871 840
奈良	1 391 395	659 171	732 224
和歌山	997 305	469 544	527 761
鳥取	585 005	279 543	305 462
島根	712 516	341 302	371 214
岡山	1 926 378	925 031	1 001 347
広島	2 827 820	1 365 236	1 462 584
山口	1 439 011	678 688	760 323
徳島	781 300	371 484	409 816
香川	988 786	476 657	512 129
愛媛	1 423 425	669 771	753 654
高知	761 239	357 567	403 672
福岡	5 030 961	2 374 674	2 656 287
佐賀	846 146	398 787	447 359
長崎	1 420 166	663 130	757 036
熊本	1 809 626	850 748	958 878
大分	1 187 599	561 248	626 351
宮崎	1 131 381	531 473	599 908
鹿児島	1 700 683	795 367	905 316
沖縄	1 385 104	679 237	705 867

資料：人口推計「平成22年国勢調査による基準人口」(総務省統計局)

5歳階級・男女別人口(日本人人口)

年齢階級	総 数	男	女
総 数	126 381 728	61 571 727	64 810 001
0～4歳	5 254 461	2 689 162	2 565 299
5～9	5 550 007	2 841 813	2 708 194
10～14	5 884 275	3 013 782	2 870 493
15～19	6 028 600	3 096 387	2 932 213
20～24	6 304 880	3 228 469	3 076 411
25～29	7 154 666	3 642 952	3 511 714
30～34	8 213 960	4 180 032	4 033 928
35～39	9 688 045	4 926 663	4 761 382
40～44	8 650 602	4 381 848	4 268 754
45～49	7 966 133	4 015 388	3 950 745
50～54	7 608 317	3 807 362	3 800 955
55～59	8 656 055	4 596 539	4 359 516
60～64	10 054 575	4 936 772	5 117 803
65～69	8 230 222	3 933 785	4 296 437
70～74	6 987 391	3 235 341	3 752 050
75～79	5 972 225	2 593 169	3 379 056
80～84	4 363 274	1 700 191	2 663 083
85～89	2 446 197	747 287	1 698 910
90～94	1 026 309	242 932	783 377
95～99	297 633	55 994	241 639
100歳以上	43 901	5 859	38 042

資料：人口推計「平成22年国勢調査による基準人口」(総務省統計局)

20大都市・男女別人口(日本人人口)

20大都市 (再掲)	総 数	男	女
東京都の区部	8 672 195	4 283 687	4 388 508
札幌市	1 906 669	893 378	1 013 291
仙台市	1 038 540	504 267	534 273
さいたま市	1 209 687	605 666	604 021
千葉市	946 928	473 486	473 442
横浜市	3 635 244	1 824 660	1 810 584
川崎市	1 398 578	716 539	682 039
相模原市	709 436	357 833	351 603
新潟市	807 768	388 468	419 300
静岡市	709 354	345 526	363 828
浜松市	782 288	387 986	394 302
名古屋市	2 209 439	1 091 289	1 118 150
京都市	1 440 420	685 076	755 344
大阪市	2 566 557	1 248 275	1 318 282
堺市	832 384	400 129	432 255
神戸市	1 509 360	714 491	794 869
岡山市	700 587	337 015	363 572
広島市	1 160 086	559 251	600 835
北九州市	966 953	454 491	512 462
福岡市	1 446 059	683 829	762 230

資料：「平成22年国勢調査」(総務省統計局)の調査票情報を独自集計した資料に基づき、厚生労働省で推計したものである。

基準人口(昭和60年モデル人口)

年齢階級	基準人口	年齢階級	基準人口
0～4歳	8 180 000	50～54歳	7 616 000
5～9	8 338 000	55～59	6 581 000
10～14	8 497 000	60～64	5 546 000
15～19	8 655 000	65～69	4 511 000
20～24	8 814 000	70～74	3 476 000
25～29	8 972 000	75～79	2 441 000
30～34	9 130 000	80～84	1 406 000
35～39	9 289 000	85歳以上	784 000
40～44	9 400 000		
45～49	8 651 000	総 数	120 287 000

合計特殊出生率について

1. 期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率

- 合計特殊出生率は「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、次の2つの種類があり、一人の女性はその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。
 - A 「期間」合計特殊出生率
ある期間（1年間）の出生状況に着目したもので、その年における各年齢（15～49歳）の女性の出生率を合計したもの。
女性人口の年齢構成の違いを除いた「その年の出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。
 - B 「コーホート」合計特殊出生率
ある世代の出生状況に着目したもので、同一世代生まれ（コーホート）の女性の各年齢（15～49歳）の出生率を過去から積み上げたもの。
「その世代の出生率」である。
- 実際に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」はBのコーホート合計特殊出生率であるが、この値はその世代が50歳に到達するまで得られないため、それに相当するものとしてAの期間合計特殊出生率が一般に用いられている。
なお、各年齢別の出生率が世代（コーホート）によらず同じであれば、この二つの「合計特殊出生率」は同じ値になる。
- ただし、晩婚化・晩産化が進行している状況等、各世代の結婚や出産の行動に違いがあり、各年齢の出生率が世代により異なる場合には、別々の世代の年齢別出生率の合計であるAの期間合計特殊出生率は、同一世代のBのコーホート合計特殊出生率の値と異なることに注意が必要である。

2. 平成22年における状況

コーホート合計特殊出生率は同一世代の女性の出生率を過去から積み上げるため、その世代が50歳になるまで得られないが、現段階で得られる到達年齢までのコーホート合計特殊出生率を、5歳階級ごとに1つの世代とみて、5年ごとの出生率を合計し、算出した^{*)}。

例えば1971～1975年生まれ（平成22年における35～39歳の世代）についての39歳までのコーホート合計特殊出生率は約1.38であるが、40歳以降も出産するので、実際にこの世代の「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」は、1.38に今後の40歳以上での出生率を加えた値となり、晩産化の進行により40歳以上の出生率が上昇傾向であることから、平成22年の期間合計特殊出生率（1.39）を上回る可能性が高い。

^{*)} 各年の各年齢別出生率を合計したより精密なコーホート合計特殊出生率は国立社会保障・人口問題研究所で算出されている。

① 期間合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

	昭和55年 (1980)	60年 (1985)	平成2年 (1990)	7年 (1995)	12年 (2000)	17年 (2005)	平成22年 (2010)
母の年齢	1.75	1.76	1.54	1.42	1.36	1.26	1.39
15～19歳	0.0189	0.0229	0.0180	0.0185	0.0269	0.0253	0.0232
20～24	0.3855	0.3173	0.2357	0.2022	0.1965	0.1823	0.1781
25～29	0.9140	0.8897	0.7031	0.5880	0.4967	0.4228	0.4356
30～34	0.3529	0.4397	0.4663	0.4677	0.4620	0.4285	0.4789
35～39	0.0666	0.0846	0.1079	0.1311	0.1572	0.1761	0.2318
40～44	0.0083	0.0094	0.0113	0.0148	0.0194	0.0242	0.0387
45～49	0.0003	0.0003	0.0003	0.0004	0.0005	0.0008	0.0010

② 各世代別(コーホート)にみた母の年齢階級別出生率

	1961-1965	1966-1970	1971-1975	1976-1980	1981-1985	1986-1990	1991-1995
母の年齢	45～49歳 の世代	40～44歳 の世代	35～39歳 の世代	30～34歳 の世代	25～29歳 の世代	20～24歳 の世代	15～19歳 の世代
15～19歳	0.0189	0.0229	0.0180	0.0185	0.0269	0.0253	0.0232
20～24	0.3173	0.2357	0.2022	0.1965	0.1823	0.1781	
25～29	0.7031	0.5880	0.4967	0.4228	0.4356		
30～34	0.4677	0.4620	0.4285	0.4789			
35～39	0.1572	0.1761	0.2318				
40～44	0.0242	0.0387					
45～49	0.0010						
コーホート 合計特殊出生率	1.69	1.52	1.38	1.12	0.64	0.20	0.02

③ コーホート合計特殊出生率(母の到達年齢別)

	1961-1965	1966-1970	1971-1975	1976-1980	1981-1985	1986-1990	1991-1995
母の年齢	45～49歳 の世代	40～44歳 の世代	35～39歳 の世代	30～34歳 の世代	25～29歳 の世代	20～24歳 の世代	15～19歳 の世代
15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.02
15～24	0.34	0.26	0.22	0.22	0.21	0.20	
15～29	1.04	0.85	0.72	0.64	0.64		
15～34	1.51	1.31	1.15	1.12			
15～39	1.66	1.48	1.38				
15～44	1.69	1.52					
15～49	1.69						

*「15～19歳の世代」は、平成3～7年生まれ、「20～24歳の世代」は、昭和61年～平成2年生まれ、
「25～29歳の世代」は、昭和56～60年生まれ、「30～34歳の世代」は、昭和51～55年生まれ、
「35～39歳の世代」は、昭和46～50年生まれ、「40～44歳の世代」は、昭和41～45年生まれ、
「45～49歳の世代」は、昭和36～40年生まれ。

出生数の動向と(期間)合計特殊出生率の動向の関係

- 出生数は、次の式のように「女性人口（15～49歳）」と「（期間）合計特殊出生率」、
「（15～49歳女性人口の）年齢構成の違い」の3つの要素に分解できる。以下、この3要素を
「女性人口」、「合計特殊出生率」、「年齢構成の違い」とする。

$$\text{出生数} = \text{女性人口 (15～49歳)} \times \frac{\text{(期間)合計特殊出生率}}{35^{1)}} \times \text{(15～49歳女性人口の)年齢構成の違い}^{2)}$$

出生数がこのように3要素に分解できることから、出生数の動向は、「合計特殊出生率」の動向だけでなく、「女性人口」と「年齢構成の違い」の動向の影響を受ける。

平成21年	107万人	=	2,653万人	×	$\frac{1.37}{35}$	×	1.032
	↓ 0.1%		↓ 0.0%		↓ 1.4%		↓ △1.3%
平成22年	107.1万人	=	2,654万人	×	$\frac{1.39}{35}$	×	1.019

※平成22年の合計特殊出生率が平成21年と同じだった場合、平成22年の出生数は前年より△1.3%であったと見込まれる。

平成21年から平成22年の動向をみると、「年齢構成の違い」が低下したものの、「合計特殊出生率」が上昇したことにより、出生数が微増したことが分かる。

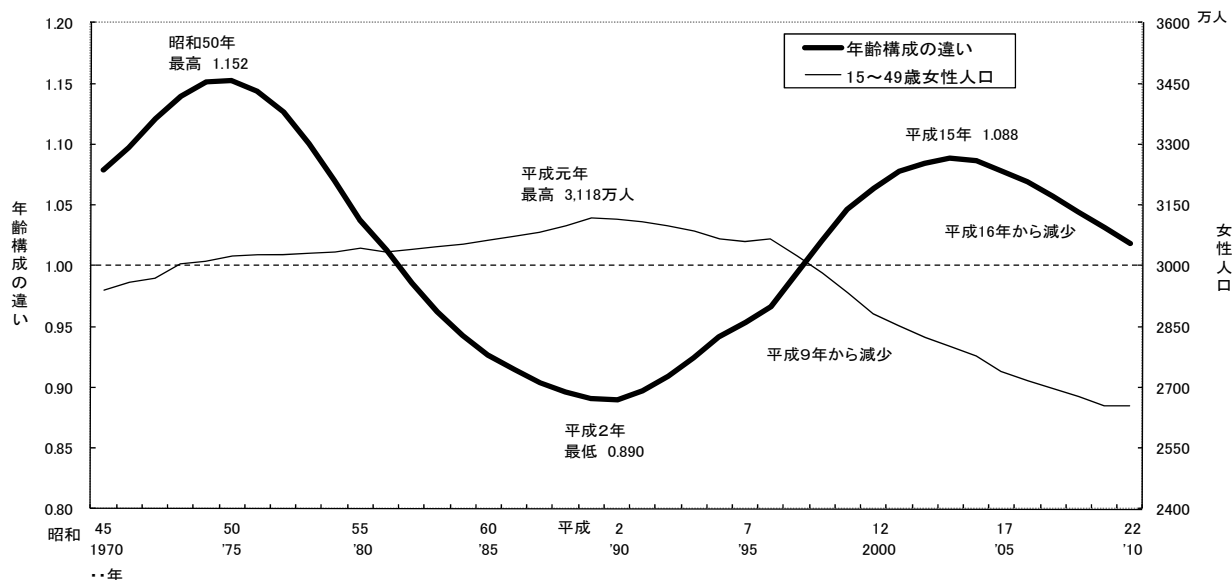
同様に、昭和45年以降の3要素の動向をみると次頁の通りであるが、

- (1) 「女性人口」は平成9年から減少傾向にある。
- (2) 「合計特殊出生率」は、平成17年まで低下傾向で推移したが、平成18年に上昇傾向に転じた。
- (3) 「年齢構成の違い」は、昭和51年、平成3年、16年を境に増減を繰り返し、16年以降は低下傾向にある。

「女性人口」の減少傾向と「年齢構成の違い」の低下傾向は今後も続くことから、「合計特殊出生率」が変わらなければ、出生数は今後も減少することになる。

- 注：1) (期間)合計特殊出生率は15～49歳までの35歳の年齢別出生率を加えたものであるため、女性人口（15～49歳）を乗じて出生数となるように35で除している。
- 2) 「年齢構成の違い」は、「女性人口」×「合計特殊出生率」/35が「15～49歳のどの年齢の女性の人数も同じとした場合に当該合計特殊出生率で見込まれる出生数」となることから、「実際の年齢構成がどの年齢の女性の人数も同じという年齢構成とどのくらい違うか表すもの」である。
- 「年齢構成の違い」は、出生率の高い年齢の女性の人数が出生率の低い年齢の女性の人数より多い場合には1より大きく、少ない場合には1より小さくなる。

「女性人口(15～49歳)」と「年齢構成の違い」の動向



年次		実 数				対前年増減率 (%)			
		出生数 ①× ^② / ₃₅ ×③	15～49歳 女性人口 (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③	出生数	15～49歳 女性人口	合計特殊 出生率	年齢構成 の違い
1970	昭和 45年	1 934 239	29 400	2.13	1.079
71	46	2 000 973	29 589	2.16	1.097	3.5	0.6	1.1	1.7
72	47	2 038 682	29 700	2.14	1.122	1.9	0.4	△ 0.7	2.2
73	48	2 091 983	30 035	2.14	1.139	2.6	1.1	△ 0.1	1.6
74	49	2 029 989	30 128	2.05	1.151	△ 3.0	0.3	△ 4.3	1.1
75	50	1 901 440	30 251	1.91	1.152	△ 6.3	0.4	△ 6.8	0.1
76	51	1 832 617	30 271	1.85	1.144	△ 3.6	0.1	△ 3.0	△ 0.7
77	52	1 755 100	30 289	1.80	1.126	△ 4.2	0.1	△ 2.8	△ 1.6
78	53	1 708 643	30 319	1.79	1.101	△ 2.6	0.1	△ 0.5	△ 2.2
79	54	1 642 580	30 351	1.77	1.071	△ 3.9	0.1	△ 1.2	△ 2.8
1980	55	1 576 889	30 438	1.75	1.038	△ 4.0	0.3	△ 1.3	△ 3.0
81	56	1 529 455	30 333	1.74	1.013	△ 3.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 2.4
82	57	1 515 392	30 404	1.77	0.986	△ 0.9	0.2	1.6	△ 2.7
83	58	1 508 687	30 463	1.80	0.963	△ 0.4	0.2	1.7	△ 2.3
84	59	1 489 780	30 549	1.81	0.942	△ 1.3	0.3	0.6	△ 2.1
85	60	1 431 577	30 644	1.76	0.927	△ 3.9	0.3	△ 2.6	△ 1.6
86	61	1 382 946	30 726	1.72	0.914	△ 3.4	0.3	△ 2.3	△ 1.4
87	62	1 346 658	30 834	1.69	0.904	△ 2.6	0.4	△ 1.9	△ 1.1
88	63	1 314 006	30 983	1.66	0.896	△ 2.4	0.5	△ 2.0	△ 0.9
89	平成 元年	1 246 802	31 177	1.57	0.890	△ 5.1	0.6	△ 5.1	△ 0.6
1990	2	1 221 585	31 154	1.54	0.890	△ 2.0	△ 0.1	△ 1.9	△ 0.1
91	3	1 223 245	31 094	1.53	0.897	0.1	△ 0.2	△ 0.5	0.9
92	4	1 208 989	30 974	1.50	0.910	△ 1.2	△ 0.4	△ 2.1	1.4
93	5	1 188 282	30 865	1.46	0.924	△ 1.7	△ 0.4	△ 2.9	1.6
94	6	1 238 328	30 681	1.50	0.942	4.2	△ 0.6	2.9	1.9
95	7	1 187 064	30 614	1.42	0.954	△ 4.1	△ 0.2	△ 5.2	1.3
96	8	1 206 555	30 651	1.43	0.967	1.6	0.1	0.2	1.3
97	9	1 191 665	30 249	1.39	0.993	△ 1.2	△ 1.3	△ 2.6	2.8
98	10	1 203 147	29 809	1.38	1.021	1.0	△ 1.5	△ 0.3	2.8
99	11	1 177 669	29 330	1.34	1.047	△ 2.1	△ 1.6	△ 3.0	2.6
2000	12	1 190 547	28 821	1.36	1.064	1.1	△ 1.7	1.3	1.6
01	13	1 170 662	28 513	1.33	1.077	△ 1.7	△ 1.1	△ 1.9	1.3
02	14	1 153 855	28 240	1.32	1.085	△ 1.4	△ 1.0	△ 1.1	0.7
03	15	1 123 610	27 998	1.29	1.088	△ 2.6	△ 0.9	△ 2.1	0.4
04	16	1 110 721	27 773	1.29	1.086	△ 1.1	△ 0.8	△ 0.1	△ 0.2
05	17	1 062 530	27 385	1.26	1.078	△ 4.3	△ 1.4	△ 2.2	△ 0.8
06	18	1 092 674	27 165	1.32	1.069	2.8	△ 0.8	4.5	△ 0.8
07	19	1 089 818	26 982	1.34	1.057	△ 0.3	△ 0.7	1.5	△ 1.1
08	20	1 091 156	26 757	1.37	1.044	0.1	△ 0.8	2.2	△ 1.2
09	21	1 070 035	26 531	1.37	1.032	△ 1.9	△ 0.8	0.1	△ 1.2
10	22	1 071 304	26 535	1.39	1.019	0.1	0.0	1.4	△ 1.3

注：1) 「合計特殊出生率」の転換年は昭和49年

2) 「年齢構成の違い」の転換年は昭和51年、平成3年、16年

3) 「15～49歳女性人口」の転換年は平成9年

厚生労働省ホームページ掲載表一覧

掲載場所：「統計情報・白書」→「各種統計調査結果」→「最近公表の統計資料」
 →「平成 22 年人口動態統計（確定数）の概況」
 →「人口動態統計年報 主要統計表（最新データ、年次推移）はこちらから」
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/suii10/index.html>

人口動態統計年報 主要統計表(最新データ、年次推移)

総 覧		
第 1 表		人口動態総覧
第 2 表-1		人口動態総覧の年次推移
第 2 表-2		人口動態総覧(率)の年次推移
第 3 表-1		人口動態総覧, 都道府県(20 大都市再掲)別
第 3 表-2		人口動態総覧(率), 都道府県(20 大都市再掲)別
出 生		
第 1 表-1		母の年齢(5 歳階級)別にみた出生数の年次推移
第 1 表-2		母の年齢(5 歳階級)別にみた合計特殊出生率の年次推移
第 2 表-1		出生順位別にみた出生数の年次推移
第 2 表-2		出生順位別にみた合計特殊出生率の年次推移
第 3 表-1		出生順位別にみた出生数の年次比較(年齢階級別内訳)
第 3 表-2		出生順位別にみた合計特殊出生率の年次比較(年齢階級別内訳)
第 4 表		都道府県別にみた合計特殊出生率の年次推移
第 5 表		出生順位別にみた母の平均年齢の年次推移
第 6 表		性別にみた出生時の身長別出生数・構成割合
第 7 表		性別にみた出生時の体重別出生数・構成割合
第 8 表		父母の国籍別にみた出生数の年次推移
第 9 表		単産-複産(複産の種類・出生-死産の組合せ)別分娩件数
第 10 表		都道府県別にみた単産-複産(複産の種類)別分娩件数
死 亡		
第 1 表		性別にみた死因順位(第 10 位まで)別死亡数・死亡率(人口 10 万対)・構成割合
第 2 表		死因順位(第 10 位まで)別にみた年齢階級別死亡数・死亡率(人口 10 万対)
第 3 表		死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率(人口 10 万対)
第 4 表		性・年齢階級別にみた死亡数・死亡率(人口 10 万対)の年次推移
第 5 表		死亡の場所別にみた死亡数・構成割合の年次推移
第 6 表		死亡の場所別にみた都道府県(20 大都市再掲)別死亡数・構成割合
第 7 表		死因順位(第 5 位まで)別にみた死亡数・死亡率(人口 10 万対)の年次推移
第 8 表		死因順位(第 5 位まで)別にみた年齢階級・性別死亡数・死亡率(人口 10 万対)・構成割合
第 9 表		年齢階級別にみた選択死因分類・性別死亡数
第 10 表		年齢階級別にみた選択死因分類・性別死亡率(人口 10 万対)
第 11 表		死因年次推移分類別にみた性別死亡数の年次推移
第 12 表		死因年次推移分類別にみた性別死亡率(人口 10 万対)の年次推移
第 13 表		死因年次推移分類別にみた性別年齢調整死亡率(人口 10 万対)の年次推移
第 14 表		主な死因別にみた都道府県(20 大都市再掲)別死亡数・死亡率(人口 10 万対)
第 15 表		悪性新生物の主な部位別にみた性別死亡数の年次推移
第 16 表		悪性新生物の主な部位別にみた性別死亡率(人口 10 万対)の年次推移
第 17 表		悪性新生物の主な部位別にみた性別年齢調整死亡率(人口 10 万対)の年次推移
第 18 表		家庭内における主な不慮の事故の種類別にみた年齢別死亡数・構成割合
死 産		
第 1 表		妊娠期間別にみた自然-人工別死産数・構成割合
婚 姻		
第 1 表		初婚-再婚別・夫妻の組合せ別にみた婚姻件数・構成割合の年次推移
第 2 表		夫妻の国籍別にみた婚姻件数の年次推移
第 3 表		夫・妻の年齢階級別にみた初婚件数・初婚率(人口千対)の年次推移
第 4 表		夫・妻の平均婚姻年齢の年次推移
第 5 表		都道府県別にみた夫・妻の平均初婚年齢の年次推移
第 6 表		初婚夫妻の年齢差別にみた婚姻件数・構成割合の年次推移
離 婚		
第 1 表		同居期間別にみた離婚件数・平均同居期間の年次推移
第 2 表		夫妻の国籍別にみた離婚件数の年次推移
第 3 表		別居したときの夫妻の年齢階級別にみた離婚件数・構成割合
第 4 表		同居期間別にみた別居したときの夫・妻の年齢階級別離婚件数・構成割合
第 5 表		親権を行わなければならない子の有無別離婚件数・構成割合及び親が離婚した未成年の子の数・率の年次推移
別 表		日本における外国人の人口動態・外国における日本人の人口動態
付 表		諸率の算出に用いた人口
参 考		平成 22 年の熱中症による死亡者数